

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	科学（基礎）			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	4単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な教養を学ぶことで、柔道整復師にとって臨床に必要なコミュニケーション能力を身に付ける。 ・数学的なものの考え方を身に付けることで、理論的な思考能力を高め、広い視野で物事をとらえる力を養う。 							
教科書	判断推理			参考書	プリント		
授業の概要							
第1回	化学分野(1)			第16回	判断推理(1)		
概要	化学の基礎(1)			概要	対応関係(1)勝敗		
第2回	化学分野(2)			第17回	判断推理(2)		
概要	化学の基礎(2)			概要	対応関係(2)対応、命題・論理②		
第3回	生物分野(1)			第18回	判断推理(3)		
概要	遺伝の法則(1)			概要	順位・順序(1)序列・大小		
第4回	生物分野(2)			第19回	判断推理(4)		
概要	遺伝の法則(2)			概要	順位・順序(2)数値		
第5回	生物分野(3)			第20回	判断推理(5)		
概要	遺伝の法則(3)			概要	順位・順序(3)追い越し・親族関係		
第6回	生物分野(4)			第21回	判断推理(6)		
概要	遺伝の法則(2)			概要	位置(1)		
第7回	生物分野(5)			第22回	判断推理(7)		
概要	刺激と反応			概要	位置(2)		
第8回	生物分野(6)			第23回	判断推理(8)		
概要	神経とその働き			概要	方位		
第9回	生物分野(7)			第24回	判断推理(9)		
概要	神経系			概要	魔方陣		
第10回	生物分野(8)			第25回	判断推理(10)		
概要	体液と内部環境			概要	道順		
第11回	生物分野(9)			第26回	判断推理(11)		
概要	内部環境の維持			概要	手順		
第12回	生物分野(10)			第27回	判断推理(12)		
概要	神経系			概要	曜日		
第13回	物理分野(1)			第28回	判断推理(13)		
概要	力学(1)			概要	平面構成		
第14回	物理分野(2)			第29回	判断推理(14)		
概要	力学(2)			概要	立体の構造		
第15回	物理分野(3)			第30回	総合		
概要	力学(3)			概要	後期まとめ		
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	科学(応用)			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4 単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>基本的なパソコンの取り扱いを学ぶことで、情報処理能力を身に付け、将来の職業に生かす。</p>							
教科書	情報処理テキスト			参考書			
授業の概要							
第1回	Excel(1)			第16回	Power Point(2)		
概要	文字入力			概要	発表用資料作成①		
第2回	Excel(2)			第17回	Power Point(3)		
概要	文字入力			概要	発表用資料作成②		
第3回	Excel(3)			第18回	Power Point(4)		
概要	文字入力			概要	リハーサル①		
第4回	Excel(4)			第19回	Power Point(5)		
概要	文字入力			概要	リハーサル②		
第5回	Word(1)			第20回	Power Point(6)		
概要	文字入力			概要	発表①		
第6回	Word(2)			第21回	Power Point(7)		
概要	Excelデータの差し込み			概要	発表②		
第7回	Word(3)			第22回	Excel(5)		
概要	文章の作成			概要	数式の基礎		
第8回	Word(4)			第23回	Excel(6)		
概要	書式の変更			概要	数式の応用①		
第9回	Word(5)			第24回	Excel(7)		
概要	図表の挿入			概要	数式の応用②		
第10回	Word(6)			第25回	Excel(8)		
概要	資料の作成①			概要	数式の応用③		
第11回	Word(7)			第26回	Excel(9)		
概要	資料の作成②			概要	数式の応用④		
第12回	Word(8)			第27回	Excel(10)		
概要	資料の作成③			概要	数式の応用⑤		
第13回	Word(9)			第28回	Excel(11)		
概要	資料の作成④			概要	数式の応用⑥		
第14回	Word(10)			第29回	Excel(12)		
概要	資料の作成⑤			概要	グラフの作成①		
第15回	Power Point(1)			第30回	Excel(13)		
概要	文字入力			概要	グラフの作成②		
成績評価の方法		出席・授業態度と課題により総合的に評価する					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	英語			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	4単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
外国人に対して適切に英語で対応出来るようにする。仕事をする際に必要な用語を英語で言えるようにする。							
教科書	Health Talk			参考書			
授業の概要							
第1回	Rehabilitation1			第16回	Rehabilitation2		
概要	起き上がりの介助をする			概要	車椅子への移動をする		
第2回	Rehabilitation1			第17回	Rehabilitation2		
概要	起き上がりの介助をする			概要	車椅子への移動をする		
第3回	Rehabilitation1			第18回	Rehabilitation2		
概要	起き上がりの介助をする			概要	車椅子への移動をする		
第4回	Rehabilitation1			第19回	Rehabilitation2		
概要	起き上がりの介助をする			概要	車椅子への移動をする		
第5回	Taking Vital Sibns2			第20回	Providing Meal Assistance		
概要	生命徴候を測定する(血圧)			概要	食事介助・治療食の説明をする		
第6回	Taking Vital Sibns2			第21回	Providing Meal Assistance		
概要	生命徴候を測定する(血圧)			概要	食事介助・治療食の説明をする		
第7回	Taking Vital Sibns2			第22回	Providing Meal Assistance		
概要	生命徴候を測定する(血圧)			概要	食事介助・治療食の説明をする		
第8回	Taking Vital Sibns2			第23回	Providing Meal Assistance		
概要	生命徴候を測定する(血圧)			概要	食事介助・治療食の説明をする		
第9回	Foot-bath			第24回	Taking Vital Sibns1		
概要	足浴について			概要	生命徴候を測定する(体温・脈拍・呼吸)		
第10回	Foot-bath			第25回	Taking Vital Sibns1		
概要	足浴について			概要	生命徴候を測定する(体温・脈拍・呼吸)		
第11回	Foot-bath			第26回	Taking Vital Sibns1		
概要	足浴について			概要	生命徴候を測定する(体温・脈拍・呼吸)		
第12回	Foot-bath			第27回	Taking Vital Sibns1		
概要	足浴について			概要	生命徴候を測定する(体温・脈拍・呼吸)		
第13回	Shampooing in Bed			第28回	Outpatient Clinic		
概要	ベッドで洗髪をする			概要	食事療法や運動について指導する		
第14回	Shampooing in Bed			第29回	Outpatient Clinic		
概要	ベッドで洗髪をする			概要	食事療法や運動について指導する		
第15回	Shampooing in Bed			第30回	Outpatient Clinic		
概要	ベッドで洗髪をする			概要	食事療法や運動について指導する		
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	体育			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	基礎	実習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>集団で体を動かすことによって、基礎体力を維持するとともに、社会性・協調性・精神的充実感を向上させる。</p>							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	オリエンテーション		
概要	授業概要・グループ決め			概要	授業概要・グループ決め		
第2回	アルティメット			第17回	バレーボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム①		
第3回	アルティメット			第18回	バレーボール		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム②		
第4回	ドッチボール			第19回	バレーボール		
概要	ゲーム			概要	ゲーム③		
第5回	バレーボール			第20回	バレーボール		
概要	ゲーム			概要	ゲーム④		
第6回	バスケットボール			第21回	バレーボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム⑤		
第7回	バスケットボール			第22回	バスケットボール		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム①		
第8回	バスケットボール			第23回	バスケットボール		
概要	ゲーム③			概要	ゲーム②		
第9回	バスケットボール			第24回	バスケットボール		
概要	ゲーム④			概要	ゲーム③		
第10回	バスケットボール			第25回	バスケットボール		
概要	ゲーム⑤			概要	ゲーム④		
第11回	フットサル			第26回	バスケットボール		
概要	ゲーム①			概要	ゲーム⑤		
第12回	フットサル			第27回	フットサル		
概要	ゲーム②			概要	ゲーム①		
第13回	フットサル			第28回	フットサル		
概要	ゲーム③			概要	ゲーム②		
第14回	フットサル			第29回	フットサル		
概要	ゲーム④			概要	ゲーム③		
第15回	フットサル			第30回	フットサル		
概要	ゲーム⑤			概要	ゲーム④		
成績評価の方法	出席点・授業態度＋加点で評価する						

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖学 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3 単位	授業時間	90 分	授業回数	45 回	履修学年	1 年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>身体の運動器(骨格系・筋系)および脈管系の構造を系統的に学習する。 「細胞・組織の特性」, 「骨の構造・各部位の名称・関節の構造」, 「筋の構造・各筋の起始・停止・作用・支配神経」, 「心臓の構造・全身の血管」について理解し説明できることを目標とする。</p>							
教科書	解剖学 改訂第2版 (医歯薬出版)			参考書	ネットー解剖学アトラス (南江堂) プロメテウス解剖学アトラス (医学書院)		
授業の概要							
第1回	解剖学概論 I			第16回	前期の復習		
概要	解剖学を学ぶにあたって, 細胞とは			概要	前期試験の解説と復習		
第2回	解剖学概論 II			第17回	上肢の筋 I		
概要	組織学・発生学			概要	上肢帯・上腕の筋		
第3回	骨格系総論			第18回	上肢の筋 II		
概要	骨の構造と機能について			概要	前腕の筋		
第4回	脊柱・胸郭の骨			第19回	上肢の筋 III		
概要	脊椎・胸郭を構成する骨について			概要	手部の筋		
第5回	上肢の骨 I			第20回	上肢の筋まとめ		
概要	肩甲骨・鎖骨・上腕骨			概要	上肢の筋 I・II・IIIの復習		
第6回	上肢の骨 II			第21回	下肢の筋 I		
概要	前腕骨・手部の骨			概要	下肢帯の筋		
第7回	上肢の関節			第22回	下肢の筋 II		
概要	肩関節・肘関節・手関節・指関節の構造			概要	大腿部の筋		
第8回	下肢の骨 I			第23回	下肢の筋 III		
概要	寛骨・大腿骨			概要	下腿部の筋		
第9回	下肢の骨 II			第24回	下肢の筋 IV		
概要	下腿骨・足部の骨			概要	足部の筋		
第10回	下肢の関節			第25回	下肢の筋まとめ		
概要	股関節・膝関節・足関節の構造			概要	下肢の筋 I・II・III・IVの復習		
第11回	頭蓋骨 I			第26回	体表解剖学		
概要	頭蓋骨を構成する骨			概要	骨学・筋学で学んだ部位を触診する		
第12回	頭蓋骨 II			第27回	脈管系 I		
概要	眼窩・鼻腔・顎関節の構造			概要	血管・心臓の構造		
第13回	筋系総論・頭部の筋			第28回	脈管系 II		
概要	筋の構造と機能, 頭部・顔面の筋			概要	大動脈・頭頸部・上肢の動脈		
第14回	頸部・背部の筋			第29回	脈管系 III		
概要	頸部・背部の筋			概要	胸腹部・骨盤・下肢の動脈		
第15回	胸部・腹部の筋			第30回	脈管系 IV		
概要	胸部・腹部の筋			概要	静脈・胎児循環・リンパ		
成績評価の方法		定期試験 (100点満点) により評価し、60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖学 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3 単位	授業時間	90 分	授業回数	45 回	履修学年	1 年
分野	専門基礎	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
解剖学は、柔道整復師を志す者にとって最も重要な科目です。しっかり学びましょう。							
教科書	解剖学（医歯薬出版株式会社）			参考書			
授業の概要							
第31回	P157~160						
概要	消化器の働き～舌下腺						
第32回	P160~164						
概要	歯～咽頭喉頭部						
第33回	P164~167						
概要	食道～十二指腸上行部						
第34回	P167~170						
概要	空腸と回腸～結腸						
第35回	P170~174						
概要	直腸～胆嚢						
第36回	P174~177						
概要	膵臓～腹膜						
第37回	P177~181						
概要	呼吸器の働き～喉頭蓋軟骨						
第38回	P181~185						
概要	気管および気管支～肺						
第39回	P185~190						
概要	胸膜～腎臓						
第40回	P190~192						
概要	尿管～女性尿道						
第41回	P192~195						
概要	生殖器の働き～精嚢						
第42回	P195~199						
概要	付属生殖器～卵巣						
第43回	P199~202						
概要	卵管～膣						
第44回	P202~205						
概要	外陰部～胎盤						
第45回	前期内容のまとめ、復習						
概要							
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	生理学 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3 単位	授業時間	90 分	授業回数	45 回	履修学年	1 年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>生理学は身体の機能を学びます。みなさんがこれまで学んできた理科と、これから学ぶ医療を結びつける橋渡しとなる学問です、ここでは生理学の基礎から消化と吸収までを学びます。</p>							
教科書	生理学 改訂第3版 南江堂			参考書			
授業の概要							
第1回	生理学の基礎 1			第16回	循環の生理学 6		
概要	生理学とは			概要	循環の調節 2		
第2回	生理学の基礎 2			第17回	循環の生理学 7		
概要	からだの科学的構成			概要	循環の調節 3		
第3回	生理学の基礎 3			第18回	循環の生理学 8		
概要	有機化合物			概要	循環の調節 4		
第4回	生理学の基礎 4			第19回	呼吸の生理学 1		
概要	細胞の機能的構造			概要	呼吸器の機能的構造		
第5回	生理学の基礎 5			第20回	呼吸の生理学 2		
概要	拡散、浸透、ろ過			概要	換気 1		
第6回	生理学の基礎 6			第21回	呼吸の生理学 3		
概要	受動輸送と能動輸送			概要	換気 2		
第7回	血液の生理学 1			第22回	呼吸の生理学 4		
概要	血液の役割			概要	ガス交換		
第8回	血液の生理学 2			第23回	呼吸の生理学 5		
概要	免疫機能			概要	呼吸を調節するしくみ		
第9回	血液の生理学 3			第24回	呼吸の生理学 6		
概要	血液型			概要	呼吸の異常		
第10回	血液の生理学 4			第25回	消化と吸収 1		
概要	血液の凝固			概要	消化器のはたらき		
第11回	循環の生理学 1			第26回	消化と吸収 2		
概要	心臓の機能 1			概要	消化液の分泌機序		
第12回	循環の生理学 2			第27回	消化と吸収 3		
概要	心臓の機能 2			概要	消化		
第13回	循環の生理学 3			第28回	消化と吸収 4		
概要	心臓の機能 3			概要	吸収		
第14回	循環の生理学 4			第29回	消化と吸収 5		
概要	血管系			概要	消化管ホルモン		
第15回	循環の生理学 5			第30回	消化と吸収 6		
概要	循環の調節 1			概要	肝臓と胆道系		
成績評価の方法		前期および後期の定期試験による。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	生理学 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3 単位	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	1年
分野	専門基礎	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>ヒトの身体の様々な器官や組織の働きを明らかにするのが生理学である。しっかりと理解してくれることを願う。</p>							
教科書	生理学（南江堂）			参考書			
授業の概要							
第31回	P141~142						
概要	内分泌とは～						
第32回	P142~144						
概要	ホルモンの定義～神経系						
第33回	P144~145						
概要	血中運搬と代謝～作用機序						
第34回	P146~147						
概要	ホルモンの種類と作用						
第35回	P148~150						
概要	視床下部のホルモン～下垂体の構造						
第36回	P150~151						
概要	下垂体前葉ホルモン～プロラクチン						
第37回	P151~153						
概要	下垂体後葉ホルモン～オキシトシン						
第38回	P153~155						
概要	甲状腺の構造～甲状腺ホルモンの輸送と代謝						
第39回	P155~157						
概要	甲状腺ホルモンの分泌調節						
第40回	P157~158						
概要	副腎皮質の構造～副腎皮質ホルモン						
第41回	P158~160						
概要	副腎皮質ホルモンの分泌調節						
第42回	P160~162						
概要	副腎皮質ホルモンの生理作用～分泌調整						
第43回	P162~165						
概要	副腎髄質ホルモンの生理作用～グルカゴン						
第44回	P165~169						
概要	ソマトスタチン～プロジェステロンの作用						
第45回	後期試験内容のまとめ・復習						
概要							
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生学・公衆衛生学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>疾病の予防、健康の保持。増進を目的とした衛生学・公衆衛生学の意義と各論を系統的に学び、地域保健活動や予防医学活動の重要性について認識を深めていきます。人々が健康を享受するための望ましい社会制度や組織活動について学び、各種医療専門職の役割を理解することを目標とします。</p>							
教科書	衛生学・公衆衛生学（学校協会）			参考書			
授業の概要							
第1回	衛生学・公衆衛生学			第16回	学校保健		
概要	衛生学・公衆衛生学の概要			概要	学校保健の意義		
第2回	健康の概念			第17回	学校保健		
概要	健康の定義			概要	学校保健管理 環境管理		
第3回	健康の概念			第18回	産業保健		
概要	人口統計、健康水準、健康指標			概要	産業保健の目的		
第4回	疾病予防と健康管理			第19回	産業保健		
概要	予防の概念			概要	職業病とその対策		
第5回	疾病予防と健康管理			第20回	成人、老人保健		
概要	生活習慣と疾病、集団検診			概要	生活習慣病、老人の健康状況		
第6回	感染症の予防			第21回	成人、老人保健		
概要	感染症の成立、ウイルス性感染症			概要	老人保健・福祉対策、介護保険		
第7回	感染症の予防			第22回	精神保健		
概要	細菌性感染症			概要	精神保健の意義と精神障害者の現状		
第8回	感染症の予防			第23回	生活環境・食品衛生活動		
概要	我が国の感染症流行の動向			概要	水の衛生と水質汚濁、衣服の衛生		
第9回	消毒			第24回	生活環境・食品衛生活動		
概要	消毒とは			概要	住居環境、食品の安全		
第10回	環境保健			第25回	生活環境・食品衛生活動		
概要	環境保健とは			概要	栄養改善活動、廃棄物処理		
第11回	環境保健			第26回	地域保健と国際保健		
概要	公害について			概要	地域保健活動の現状、国際協力		
第12回	環境保健			第27回	衛生行政と保健医療の制度		
概要	空気の衛生と大気汚染			概要	衛生行政機構、医療保険の現状		
第13回	母子保健			第28回	疫学		
概要	母子保健の指標と現状			概要	疫学とは、疫学の3要因、疫学モデル		
第14回	母子保健			第29回	疫学		
概要	母子保健対策の現状			概要	疫学調査の手順と留意事項		
第15回	まとめ			第30回	まとめ		
概要	前期のまとめ			概要	後期のまとめ		
成績評価の方法	定期試験の成績、授業への出席状況を基本とする。						

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道 I			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	2 単位	授業時間	90 分	授業回数	30 回	履修学年	1 年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道実技審査に向けて、柔道の精神・体力・技の理合など基本的事項を理解させる。柔道経験がなく入学した学生の技能習熟の到達目標を柔道初段の取得に置き、初段程度の技量を習得させる。柔道を体験しながら柔道の良さを知る。対人的技能との関連で基本動作を習得しながら得意技を作る。</p>							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	ガイダンス(注意事項)			第16回	投技(足技)		
概要	柔道の特性、歴史について			概要	反転横受身から送足払		
第2回	柔道の基本動作			第17回	投技(足技)		
概要	姿勢、正座、礼法→座礼、立礼			概要	送足払・出足払・大外刈・小外刈		
第3回	投技の基本動作			第18回	投技(足技)		
概要	進退動作、体ほぐし運動			概要	大外刈・小外刈・小内刈・大内刈		
第4回	投技の基本動作－受身			第19回	体さばき→組み手注意事項		
概要	姿勢、後方、側方、前方受身			概要	投技の打ち込み→移動打ち込み		
第5回	柔道着について			第20回	反則について		
概要	名称、柔道着の着方、たたみ方、帯の結び方			概要	投技 自由練習(乱取)		
第6回	投技の基本動作－受身			第21回	抑え技 復習 (全種類)		
概要	前方回転受身-姿勢-馬姿勢から			概要	抑え技の攻め方、返し方について		
第7回	受身・投技			第22回	絞技、関節技の復習		
概要	前方回転受身 投技→大腰			概要	逃げ方について、寝技乱取		
第8回	中間試験			第23回	中間試験		
概要	基本動作試験(服装・正座・座礼・立礼)			概要	投技(足技)・寝技まとめ		
第9回	受身・投技			第24回	投の形について―①		
概要	大腰・背負投・一本背負投			概要	手技(浮落、背負投)		
第10回	受身・投技			第25回	投の形について―①		
概要	体落・釣込腰・背負落			概要	手技(背負投、肩車)		
第11回	受身・投技			第26回	投の形について―①		
概要	体落・膝車・支釣込足			概要	手技の復習		
第12回	寝技(抑え技)8種			第27回	投の形について―②		
概要	ひとつの抑え技から世界一周へ			概要	腰技(浮腰、払腰)		
第13回	抑え技から絞技へ			第28回	投の形について―②		
概要	並十字、逆十字、裸、送襟、片羽絞			概要	腰技(払腰、釣込腰)		
第14回	抑え技から関節技へ			第29回	投の形について―②		
概要	腕臑から各種 関節技			概要	腰技の復習		
第15回	前期試験 練習			第30回	後期期末試験 練習		
概要	投技・寝技 各復習			概要	投の形(手技)を中心に		
成績評価の方法		実技審査に準じた実技試験（礼法から前方回転受身、投の形）					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	職業倫理			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1 単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年
分野	専門基礎	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
柔道整復師が果たすべき役割や職業倫理について学ぶ。							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	柔道整復師の沿革①			第16回			
概要				概要			
第2回	柔道整復師の沿革②			第17回			
概要				概要			
第3回	柔道整復師倫理綱領			第18回			
概要				概要			
第4回	医療人として			第19回			
概要				概要			
第5回	治療者として			第20回			
概要				概要			
第6回	接客と接遇、身だしなみ			第21回			
概要				概要			
第7回	インフォームド・コンセント			第22回			
概要				概要			
第8回	リスクマネジメント			第23回			
概要				概要			
第9回	医療の問題と倫理			第24回			
概要				概要			
第10回	医療の安全確保			第25回			
概要				概要			
第11回	医療事故の防止			第26回			
概要				概要			
第12回	環境整備について			第27回			
概要				概要			
第13回	院内感染防止			第28回			
概要				概要			
第14回	医療訴訟			第29回			
概要				概要			
第15回	復習			第30回			
概要				概要			
成績評価の方法							

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	物理療法機器等の取扱い			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1 単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年
分野	専門	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
柔道整復師領域で使用する物理療法機器等の原理、作用を学び、適切な取り扱いを学習する。							
教科書	柔道整復学理論			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回			
概要				概要			
第2回	物理療法分類1			第17回			
概要	電気療法など			概要			
第3回	物理療法分類2			第18回			
概要	寒冷療法など			概要			
第4回	物理療法分類3			第19回			
概要	光線療法など			概要			
第5回	物理療法分類4			第20回			
概要	温熱療法など			概要			
第6回	物理療法分類5			第21回			
概要	脊椎牽引療法など			概要			
第7回	安全対策			第22回			
概要	取扱いについて			概要			
第8回	物理療法の適応			第23回			
概要				概要			
第9回	物理療法の禁忌や注意点			第24回			
概要				概要			
第10回	手技療法			第25回			
概要	作用と効果			概要			
第11回	マニピュレーション			第26回			
概要	種類とテクニック			概要			
第12回	超音波について			第27回			
概要	使用方法と注意点			概要			
第13回	競技者への活用			第28回			
概要	外傷の取扱いなど			概要			
第14回	高齢者への活用			第29回			
概要	症病を考えた取扱いなど			概要			
第15回	復習			第30回			
概要				概要			
成績評価の方法							

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎柔道整復学 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4 単位	授業時間	90 分	授業回数	60 回	履修学年	1 年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>身近で起きるスポーツ外傷を通じて基本的な知識を身につける。現場のイメージを感じてもらい学習意欲を高める。</p>							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	重篤な外傷1		
概要				概要			
第2回	スポーツ外傷・障害の基礎知識			第17回	重篤な外傷2		
概要				概要			
第3回	下肢のスポーツ外傷・障害1			第18回	重篤な外傷3		
概要				概要			
第4回	下肢のスポーツ外傷・障害2			第19回	重篤な外傷4		
概要				概要			
第5回	下肢のスポーツ外傷・障害3			第20回	その他の外傷1		
概要				概要			
第6回	下肢のスポーツ外傷・障害4			第21回	その他の外傷2		
概要				概要			
第7回	上肢のスポーツ外傷・障害1			第22回	その他の外傷3		
概要				概要			
第8回	上肢のスポーツ外傷・障害2			第23回	その他の外傷4		
概要				概要			
第9回	上肢のスポーツ外傷・障害3			第24回	年齢・性別による特徴1		
概要				概要			
第10回	上肢のスポーツ外傷・障害4			第25回	年齢・性別による特徴2		
概要				概要			
第11回	体幹のスポーツ外傷・障害1			第26回	年齢・性別による特徴3		
概要				概要			
第12回	体幹のスポーツ外傷・障害2			第27回	スポーツ整形外科的メディカルチェック1		
概要				概要			
第13回	体幹のスポーツ外傷・障害3			第28回	スポーツ整形外科的メディカルチェック2		
概要				概要			
第14回	体幹のスポーツ外傷・障害4			第29回	スポーツ整形外科的メディカルチェック3		
概要				概要			
第15回	前期のまとめ			第30回	1年間のまとめ		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎柔道整復学 I			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	4 単位	授業時間	90 分	授業回数	60 回	履修学年	1 年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道整復学の基礎を学ぶ。総論中心。 軟部組織損傷の概要や修復過程のメカニズムを学ぶことで、外傷時に身体の内部でどのような現象が起きているのか理解することを目的とする。 顎関節・体幹・脊柱の軟部組織損傷における各疾患の特徴を理解し、正確に評価する方法を修得する。</p>							
教科書	柔道整復学・理論編（南江堂）			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	筋の損傷		
概要				概要	筋損傷の概要と修復メカニズム		
第2回	柔道整復術とは			第17回	腱の損傷		
概要				概要	腱損傷の概要と修復メカニズム		
第3回	柔道整復の業務範囲			第18回	末梢神経の損傷		
概要				概要	末梢神経損傷の分類,神経の再生		
第4回	柔道整復術を施すための心構え			第19回	血管・皮膚の損傷		
概要				概要	血管・皮膚損傷後の修復メカニズム		
第5回	身体の基礎的状态			第20回	疼痛学		
概要				概要	なぜケガをすると痛いのか		
第6回	損傷時に加わる力			第21回	顎関節・胸部の損傷		
概要				概要	顎関節症,胸肋関節・肋間筋損傷		
第7回	骨折の定義			第22回	頸部の疾患 I		
概要				概要	外傷性頸部捻挫(むちうち損傷)		
第8回	骨損傷の分類			第23回	頸部の疾患 II		
概要				概要	胸郭出口症候群		
第9回	骨折の程度による分類			第24回	頸部の疾患 III		
概要				概要	腕神経叢損傷・長胸神経麻痺		
第10回	骨折の固有症状			第25回	頸椎疾患の診察法		
概要				概要	徒手検査法と診察の進め方		
第11回	骨折時の全身症状			第26回	腰部の疾患 I		
概要				概要	腰椎椎間板ヘルニア・椎間関節症		
第12回	骨折の治癒に影響を与える因子			第27回	腰部の疾患 II		
概要				概要	腰椎分離症・仙腸関節障害		
第13回	偽関節の発生原因			第28回	腰部疾患の診察法 I		
概要				概要	徒手検査法と診察の進め方		
第14回	まとめ			第29回	腰部疾患の診察法 II		
概要				概要	腰痛の診察法(実践)		
第15回	小テスト			第30回	後期まとめ		
概要				概要	講義で学んだ内容を復習し理解を深める		
成績評価の方法		定期試験（100点満点）により評価し、60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	包帯実技			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1 単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	1年
分野	専門	実技		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
包帯に慣れる。固定力の保持、機能的な包帯固定の技術の習得を目指す。							
教科書	包帯固定学			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回			
概要				概要			
第2回	固定			第17回			
概要	目的、範囲、肢位			概要			
第3回	固定材料の種類			第18回			
概要	副子など			概要			
第4回	基本包帯法1			第19回			
概要				概要			
第5回	基本包帯法2			第20回			
概要				概要			
第6回	基本包帯法3			第21回			
概要				概要			
第7回	基本包帯法4			第22回			
概要				概要			
第8回	基本包帯法5			第23回			
概要				概要			
第9回	基本包帯法6			第24回			
概要				概要			
第10回	基本包帯法7			第25回			
概要				概要			
第11回	基本包帯法8			第26回			
概要				概要			
第12回	冠名包帯法1			第27回			
概要	デゾー包帯			概要			
第13回	冠名包帯法2			第28回			
概要	ウェルポー包帯法			概要			
第14回	冠名包帯法3			第29回			
概要	ジュール包帯			概要			
第15回	復習			第30回			
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4 単位	授業時間	90分	授業回数	60回	履修学年	1年
分野	専門	講義・実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>スポーツ現場で出会う主なスポーツ外傷・障害に関する知識の修得又救急現場でも実践できる救急法の修得を目指します。そして柔整師の資格を絶対に取得し患者さんの役に立つという強い意志を持ち続けて常に柔整師へのモチベーションが向上するよう指導します。</p>							
教科書	プリント			参考書			
授業の概要							
第1回	スポーツ外傷・障害とは？			第16回	ウォームアップ・クールダウン		
概要	成長期の体と大人の体の違い			概要	動的ストレッチ・静的ストレッチ		
第2回	こんな場所にこんな障害が			第17回	スポーツトレーニングの基礎理論		
概要	頭部・顔面部・頸部			概要	ウェイトトレーニング・レジスタンストレーニング		
第3回	こんな場所にこんな障害が			第18回	メディカルリハ・アスレチックリハ		
概要	胸部・背部			概要			
第4回	こんな場所にこんな障害が			第19回	スポーツマッサージ		
概要	肩関節・上腕部			概要			
第5回	こんな場所にこんな障害が			第20回	インソール(足底板)		
概要	肘関節・前腕部			概要	ローアーチ・ハイアーチ・回内回外足・O脚・X脚		
第6回	こんな場所にこんな障害が			第21回	テーピング		
概要	手関節・手根部・中手部・指関節			概要	伸縮又非伸縮		
第7回	こんな場所にこんな障害が			第22回	テーピング		
概要	腰部・脊椎			概要			
第8回	こんな場所にこんな障害が			第23回	テーピング		
概要	股関節・大腿部			概要			
第9回	こんな場所にこんな障害が			第24回	テーピング		
概要	膝関節			概要			
第10回	こんな場所にこんな障害が			第25回	テーピング		
概要	下腿部			概要			
第11回	こんな場所にこんな障害が			第26回	テーピング		
概要	足関節・足根関節・中足部・趾関節			概要			
第12回	救急のABC			第27回	テーピング		
概要	気道の確保・人工呼吸・循環			概要			
第13回	RICE処置			第28回	スキー場医務室研修(冬期)		
概要	固定・アイシング・圧迫・挙上			概要	映像での症例報告		
第14回	ディスカッション質問等			第29回	ディスカッション質問等		
概要				概要			
第15回	前期定期試験の予習			第30回	後期定期試験の予習		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験の結果・出席状況・授業の態度から総合的に評価します。また個人の努力も評価要素と致します。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技 I			対象学科	柔道整復師科		
授業単位	4 単位	授業時間	90 分	授業回数	60 回	履修学年	1 年
分野	専門	実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
下肢に関する解剖学的、運動学的知識を覚えて、下肢の骨折に関する臨床的実技・教科書的知識を理解する。							
教科書	柔道整復理論・実技			参考書	諸々		
授業の概要							
第31回	初回プレゼン			第46回	下肢の骨折理論・実技		
概要	自己紹介・柔道整復師とは			概要	教科書的骨折の理論を理解する		
第32回	足解剖学			第47回	下肢の骨折理論・実技		
概要	足周辺の解剖学的知識(特に骨)を深める			概要	教科書的&臨床的下肢骨折の実技		
第33回	足解剖学			第48回	下肢の骨折理論・実技		
概要	足周辺の解剖学的知識(特に骨)を深める			概要	臨床的下肢骨折の実技		
第34回	足解剖学			第49回	下肢の骨折理論・実技		
概要	足～下腿部の解剖学的知識を深める			概要	臨床的下肢骨折の実技		
第35回	下腿部～足解剖学・運動学			第50回	下肢の骨折理論・実技		
概要	下腿部～足の筋骨格系の知識を深める			概要	臨床的下肢骨折の実技		
第36回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第51回	下肢の臨床的理論・実技		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	スポーツにおける臨床的障害		
第37回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第52回	下肢の臨床的理論・実技		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	スポーツにおける臨床的障害		
第38回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第53回	下肢の臨床的理論・実技		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	スポーツにおける臨床的障害		
第39回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第54回	下肢の臨床的理論・実技		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	スポーツにおける臨床的障害		
第40回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第55回	下肢の臨床的理論・実技		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	スポーツにおける臨床的障害		
第41回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第56回	臨床現場での実際		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	トレーナー活動の実態・実技		
第42回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第57回	臨床現場での実際		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	トレーナー活動の実態・実技		
第43回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第58回	臨床現場での実際		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	トレーナー活動の実態・実技		
第44回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第59回	総括		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	下肢障害の総括		
第45回	下腿部～足解剖学・運動学;実技			第60回	総括		
概要	筋骨格系の知識と足への固定			概要	下肢障害の総括		
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床実習			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門	実習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道整復師になるにあたって欠かせないのは解剖学的知識を深めることである。運動学を交え、柔道整復師に強く結びつきのある、筋・骨格を主体として基礎からしっかりと学んでいくことを目標とする。</p>							
教科書	解剖学 生理学 運動学			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション・人体解剖学概説			第16回	解剖学 復習		
概要				概要	筋系		
第2回	解剖学 運動系			第17回	運動学 1章・2章		
概要	総論			概要	運動学の目的・運動の表し方		
第3回	解剖学 運動系 骨系			第18回	運動学 3章		
概要	脊柱 胸郭			概要	身体運動と力学		
第4回	解剖学 運動系 骨系			第19回	運動学 4章		
概要	上肢骨			概要	運動器の構造と機能		
第5回	解剖学 運動系 骨系			第20回	運動学 5章		
概要	上肢骨 上肢の関節			概要	神経の構造と機能		
第6回	解剖学 運動系 骨系			第21回	運動学 6章		
概要	下肢骨			概要	運動感覚		
第7回	解剖学 運動系 骨系			第22回	運動学 確認テスト		
概要	下肢骨 下肢の関節			概要			
第8回	解剖学 確認テスト			第23回	運動学 7章		
概要	総論 骨系			概要	反射と随意運動		
第9回	解剖学 運動系 筋系			第24回	運動学 8章		
概要	骨格筋 総論			概要	四肢と体幹の運動		
第10回	解剖学 運動系 筋系			第25回	運動学 8章		
概要	頭部 頸部の筋			概要	四肢と体幹の運動		
第11回	解剖学 運動系 筋系			第26回	運動学 9章		
概要	胸部 腹部 背部の筋			概要	姿勢		
第12回	解剖学 運動系 筋系			第27回	運動学 10章		
概要	上肢帯 上腕の筋			概要	歩行		
第13回	解剖学 運動系 筋系			第28回	運動学 11章		
概要	前腕の筋 手の筋			概要	運動発達		
第14回	解剖学 運動系 筋系			第29回	運動学 12章		
概要	下肢の筋			概要	運動学習		
第15回	解剖学 運動系 筋系			第30回	運動学 確認テスト		
概要	下肢の筋・確認テスト			概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床実習			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	専門	実習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
総論 評価・治療法を学ぶ。柔道整復師の基本をしっかりと理解する。							
教科書	柔道整復理論			参考書			
授業の概要							
第1回	評価の注意点				整復法		
概要							
第2回	評価の注意点				整復法		
概要							
第3回	問診の進め方				固定法		
概要							
第4回	問診の進め方				固定法		
概要							
第5回	身体評価の流れ				固定法		
概要							
第6回	身体評価の流れ				固定法		
概要							
第7回	評価の時期による分類				後療法		
概要							
第8回	評価の時期による分類				後療法		
概要							
第9回	治療器具				後療法		
概要							
第10回	治療器具				後療法		
概要							
第11回	施術録の扱いと記載				指導管理		
概要							
第12回	施術録の扱いと記載				指導管理		
概要							
第13回	整復法				指導管理		
概要							
第14回	整復法				指導管理		
概要							
第15回	復習				復習		
概要							
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	国家試験対策（生理学）			対象学科	柔道整復師科		
授業単位		授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	1年
分野	講義			必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>人体の正常な働き・機能を単元別に理解する。各単元において解剖学的知識（人体の正常な構造・形態）が必要なときは、プロジェクター等を使用し、生理学の知識を獲得しやすいようにする。さらに各単元終了後には小テストを実施し、理解度を確認したい。</p>							
教科書	生理学（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	生理学及び解剖学の基礎①			第16回	消化と吸収①		
概要				概要			
第2回	生理学及び解剖学の基礎②			第17回	消化と吸収②		
概要				概要			
第3回	血液の生理学①			第18回	栄養と代謝		
概要				概要			
第4回	血液の生理学②			第19回	体温とその調節		
概要				概要			
第5回	循環の解剖学			第20回	泌尿器系の解剖学		
概要	心臓			概要			
第6回	循環の解剖学			第21回	尿の生成と排泄①		
概要	脈管系			概要			
第7回	循環の生理学①			第22回	尿の生成と排泄②		
概要				概要			
第8回	循環の生理学②			第23回	内分泌系の解剖学		
概要				概要			
第9回	呼吸器系の解剖学①			第24回	内分泌系の機能①		
概要				概要			
第10回	呼吸器系の解剖学②			第25回	内分泌系の機能②		
概要				概要			
第11回	呼吸の生理学①			第26回	生殖器の解剖学		
概要				概要			
第12回	呼吸の生理学②			第27回	生殖①		
概要				概要			
第13回	消化器系の解剖学①			第28回	生殖②		
概要				概要			
第14回	消化器系の解剖学②			第29回	予備		
概要				概要			
第15回	前期試験対策			第30回	後期試験対策		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3単位	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
解剖学は、柔道整復師を志す者にとって最も重要な科目ある。しっかり学びましょう。							
教科書	解剖学（医歯薬出版株式会社）			参考書			
授業の概要							
第1回	P123~126			第16回	P169~173		
概要	体循環と肺循環～毛細血管			概要	大腸～肝臓		
第2回	P127~129			第17回	P173~177		
概要	心臓の位置と形態～大動脈弁			概要	胆嚢～腹膜		
第3回	P130~133			第18回	P177~179		
概要	心臓壁の構造～漿膜性心膜			概要	呼吸器の働き～咽頭		
第4回	P133~137			第19回	P180~182		
概要	肺循環～大脳動脈輪			概要	喉頭～気管および気管支		
第5回	P137~142			第20回	P182~186		
概要	鎖骨下動脈～精巣動脈または卵巣動脈			概要	肺～縦隔		
第6回	P142~145			第21回	P186~190		
概要	壁側枝～頸部の皮下静脈			概要	泌尿器の働き～腎臓		
第7回	P145~148			第22回	P190~192		
概要	上肢の静脈～精巣静脈または卵巣静脈			概要	尿管～女性尿道		
第8回	P148~150			第23回	P192~195		
概要	門脈～小伏在静脈			概要	生殖器の働き～精嚢		
第9回	P150~154			第24回	P195~199		
概要	胎児循環～リンパ本幹			概要	付属生殖器～卵巣		
第10回	P154~156			第25回	P199~202		
概要	リンパ性器官～胸腺			概要	卵管～膣		
第11回	P157~160			第26回	P202~205		
概要	消化器の働き～舌下腺			概要	外陰部～胎盤		
第12回	P160~163			第27回	P207~210		
概要	歯～有郭乳頭			概要	内分泌の働き～バソプレッシン		
第13回	P163~166			第28回	P210~212		
概要	咽頭～胃幽門部			概要	松果体～上皮小体		
第14回	P166~169			第29回	P212~215		
概要	胃粘膜～空腸と回腸			概要	副腎～卵巣		
第15回	前期内容まとめ・復習			第30回	後期内容のまとめ・復習		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	3単位	授業時間	90分	授業回数	45回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
<p>内臓系（消化器・呼吸器・泌尿器・生殖器）・内分泌系・神経系の構造について理解し説明できることを目標とする。</p>							
教科書	解剖学 改訂第2版（医歯薬出版）			参考書	ネットー解剖学アトラス（南江堂） プロメテウス解剖学アトラス（医学書院）		
授業の概要							
第31回	中枢神経系Ⅰ						
概要	神経の基本構造・中枢神経の構造						
第32回	中枢神経系Ⅱ						
概要	間脳・脳幹部・小脳・脊髄の構造						
第33回	中枢神経系Ⅲ						
概要	伝導路						
第34回	末梢神経系Ⅰ						
概要	脳神経の構造						
第35回	末梢神経系Ⅱ						
概要	脊髄神経の構造						
第36回	末梢神経系Ⅲ						
概要	自律神経の構造						
第37回	消化器Ⅰ						
概要	口腔から肛門までの各部位の構造						
第38回	消化器Ⅱ						
概要	肝臓・胆嚢・膵臓の構造						
第39回	呼吸器						
概要	鼻腔・喉頭・気管・気管支の構造						
第40回	泌尿器						
概要	腎臓・尿管・膀胱・尿道の構造						
第41回	生殖器Ⅰ						
概要	男性生殖器の構造						
第42回	生殖器Ⅱ						
概要	女性生殖器の構造						
第43回	内分泌系						
概要	ホルモンを分泌する臓器の構造						
第44回	感覚器						
概要	皮膚・視覚器・平衡聴覚器の構造						
第45回	後期まとめ						
概要	後期で学んだ内容を復習する						
成績評価の方法		定期試験（100点満点）により評価し、60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	生理学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>ヒトの身体の様々な器官や組織の働きを明らかにするのが生理学である。しっかりと理解してくれることを願う。</p>							
教科書	生理学（南江堂）			参考書			
授業の概要							
第1回	P1~4			第16回	P54~57		
概要	生理学とは～同位体			概要	リンパ系～その他の調節		
第2回	P4~8			第17回	P57~61		
概要	化学結合、分子、イオン～有機化合物			概要	体液性調節～肺循環		
第3回	P8~11			第18回	P61~64		
概要	糖質と脂質～ステロイド			概要	皮膚循環～血液-脳関門		
第4回	P11~14			第19回	P65~68		
概要	蛋白質～小胞体とリボソーム			概要	呼吸器の機能的構造～呼吸器の働きと換気のしくみ		
第5回	P15~19			第20回	P68~		
概要	ゴルジ装置～ろ過			概要	肺胞内圧と胸膜腔内圧～肺胞換気量と死腔		
第6回	P19~21			第21回	P71~75		
概要	受動輸送～エクソサイトーシス			概要	呼吸のための仕事～その他の要因		
第7回	P23~27			第22回	P75~79		
概要	血液の役割～赤血球			概要	血液中の二酸化炭素の運搬		
第8回	P27~31			第23回	P79~81		
概要	白血球～アレルギー			概要	呼吸の異常～機械的人工呼吸装置		
第9回	P31~35			第24回	P83~86		
概要	血液型～止血の異常			概要	消化器系のはたらき～消化管の運搬とその調節		
第10回	P37~40			第25回	P86~88		
概要	循環の生理学～神経支配			概要	分節運動～体液性機序		
第11回	P40~			第26回	P88~92		
概要	心筋の基本的性質～スターリングの心臓の法則			概要	唾液の分泌機序～糖質の消化		
第12回	P43~47			第27回	P92~95		
概要	心電図～不整脈			概要	蛋白質の消化～脂質の吸収		
第13回	P47~51			第28回	P96~98		
概要	心臓のポンプ機能～交換血管系			概要	消化管ホルモン～分泌調節と作用		
第14回	P51~54			第29回	P98~101		
概要	容量血管系(静脈)～聴診法			概要	肝臓と胆道系～胆道系のはたらき		
第15回	前期内容まとめ・復習			第30回	後期内容まとめ・復習		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	運動学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>一年次に解剖学及び生理学を学び、人体の構造と機能というものが理解できたと思われる。しかし人体は常時解剖学的正位をとっているわけではない。日常の運動・動作というものを解剖学・生理学をあてはめて一つ一つの動作にどのような事が起こっているかを理解してほしい。</p>							
教科書	運動学（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	1. 運動学の目的 2. 運動の表し方			第16回	オリエンテーション・1～3章		
概要	3. 身体運動と力学、運動学を学ぶにあたり			概要	運動学目的・表し方・運動力学を学習		
第2回	4. 運動器の構造と機能			第17回	4章・・・運動器の構造と機能		
概要	骨 関節 筋			概要	骨の構造と機能を学習		
第3回	5. 神経の構造と機能			第18回	5章・・・神経の構造と機能		
概要	シナプスetc.			概要	神経細胞の構造と機能を学習		
第4回	6. 運動感覚 7. 反射と随意運動			第19回	6～7章・・・運動感覚と反射		
概要	運動感覚とは、反射とは			概要	感覚と知覚・運動制御・反射を学習		
第5回	8. 四肢と体幹の運動Ⅰ			第20回	8章・・・四肢と体幹の運動①		
概要	A上肢帯の運動 B肩関節 C肘関節			概要	上肢帯の機能解剖を学習		
第6回	8. 四肢と体幹の運動Ⅱ			第21回	地域の取り組み（水治療体験）		
概要	D手関節の運動 E股関節 F膝関節			概要	水中運動を体験し、運動の特徴を学習		
第7回	8. 四肢と体幹の運動Ⅲ			第22回	8章・・・四肢と体幹の運動②		
概要	G足関節 H体幹 I頸椎			概要	下肢帯の機能解剖を学習		
第8回	8. 四肢と体幹の運動Ⅳ			第23回	子どもの運動遊びの取り組み		
概要	J胸椎 K腰椎 L顔面			概要	子どもの発達を支援する取り組みを学習		
第9回	9. 姿勢			第24回	9～10章・・・姿勢・歩行		
概要	分類 重心 立位			概要	姿勢・歩行の運動学的分析を学習		
第10回	10. 歩行Ⅰ			第25回	11～12章・・・運動発達・運動学習		
概要	A歩行周期～C分析			概要	乳幼児期の運動発達・学習曲線を理解		
第11回	10. 歩行Ⅱ			第26回	高齢者の健康づくり（心と体）		
概要	D筋活動～G異常歩行			概要	高齢者の健康と支援を学習		
第12回	11. 運動発達			第27回	自由研究テーマ・グループ分け		
概要	乳幼児の運動発達			概要	研究テーマの選定・グループピング		
第13回	12. 運動学習			第28回	自由研究期間		
概要	学習～記憶			概要	情報収集・整理のプロセスを学習		
第14回	まとめ			第29回	自由研究発表		
概要				概要	プレゼン姿勢・質疑応答を学習		
第15回	テスト対策			第30回	運動学のまとめ、レポート作成+期末試験		
概要				概要	レポート提出・期末試験		
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	病理学概論			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>疾病の5つの分類を通して疾病の原因や病態を学び、具体的な疾病名を関連付ける。疾病とはどのような状態か、病変のある部位ではどのような現象が観察されるか、どのように処置を行わねばならないか、疾病を知るためには何をわからなければならないか、一年次に学んできた解剖学は正常を学んできた。病理学概論では異常を学ぶ。疾病を他者に（他分野とのコミュニケーション）伝達するための用語を理解して頂きたい。</p>							
教科書	病理学概論（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	病理学とは			第16回	1. 病理学とは 2. 疾病の一般		
概要	方法			概要	P1～P8		
第2回	疾病の一般、病因			第17回	10. 病因		
概要	疾病の意義と分類、病因の一般			概要	P127～P150		
第3回	細胞障害 1			第18回	10. 病因		
概要	退行性病変			概要	P127～P150		
第4回	細胞障害 2			第19回	9. 先天性異常		
概要	代謝障害			概要	P113～P125		
第5回	循環障害 1			第20回	3. 細胞障害（退行性病変・代謝障害）		
概要	血液の循環障害			概要	P9～P27		
第6回	循環障害 2			第21回	4. 循環障害		
概要	脱水症、高血圧症			概要	P29～P47		
第7回	進行性病変 1			第22回	4. 循環障害		
概要	肥大、過形成、再生			概要	P29～P47		
第8回	進行性病変 2			第23回	5. 進行性病変（病的増殖）と細胞・組織の適応		
概要	創傷治癒、移植、脳死			概要	P49～P60		
第9回	炎症 1			第24回	6. 炎症		
概要	炎症の一般			概要	P61～P68		
第10回	炎症 2			第25回	7. 免疫異常、アレルギー		
概要	炎症の分類			概要	P71～P84		
第11回	免疫異常、アレルギー			第26回	7. 免疫異常、アレルギー		
概要	免疫の仕組み、アレルギー			概要	P71～P84		
第12回	腫瘍			第27回	8. 腫瘍		
概要	腫瘍の概念			概要	P85～P111		
第13回	先天異常 1			第28回	8. 腫瘍		
概要	総論			概要	P85～P111		
第14回	先天異常 2			第29回	付 運動器の病理		
概要	奇形の種類			概要	P151～P166		
第15回	運動器の病理			第30回	国家試験 演習		
概要	感染性疾患			概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	一般臨床医学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
1. 柔道整復師として知るべき内科を中心とした臨床医学全般の基本的な知識と考え方を身につける。 2. 柔道整復師の業務に直接関連するキーワードについては簡潔に説明できる。							
教科書	全国柔道整復学校協会監修 一般臨床医学 改訂第3版			参考書			
授業の概要							
第1回	診察概論 診察各論（1）			第16回	確認テスト③		
概要	医療面接 視診（～精神状態）			概要	呼吸器疾患 循環器疾患		
第2回	診察各論（2）			第17回	消化器疾患（1）		
概要	視診（異常運動 歩行 皮膚）			概要	総論 上部消化管の疾患		
第3回	診察各論（3）			第18回	消化器疾患（2）		
概要	視診（頭部・顔面～背部・腰部）			概要	下部消化管の疾患 急性肝炎～脂肪肝		
第4回	診察各論（4）			第19回	消化器疾患（3）		
概要	視診（四肢） 打診 聴診			概要	肝硬変～腹膜疾患		
第5回	診察各論（5）			第20回	代謝疾患		
概要	確認テスト①			概要			
第6回	診察各論（6）			第21回	確認テスト④		
概要	触診			概要	消化器疾患 代謝疾患		
第7回	診察各論（7）			第22回	内分泌疾患		
概要	生命徴候			概要			
第8回	診察各論（8）			第23回	血液・造血器疾患		
概要	感覚検査 反射検査			概要			
第9回	診察各論（9）			第24回	腎・尿路疾患		
概要	代表的な臨床症状（発熱～チアノーゼ）			概要	*腎移植は外科学概論で		
第10回	診察各論（10）			第25回	確認テスト⑤		
概要	代表的な臨床症状（関節痛～やせ） 検査法			概要	内分泌・血液・造血器・腎・尿路疾患		
第11回	診察各論（11）			第26回	神経疾患（1）		
概要	確認テスト②			概要	総論 脳血管障害 脳腫瘍		
第12回	呼吸器疾患（1）			第27回	神経疾患（2）		
概要	総論 各論（かぜ症候群～肺結核）			概要	中枢神経系の感染症～筋疾患		
第13回	呼吸器疾患（2）			第28回	感染症		
概要	呼吸器疾患（気管支喘息～気胸）			概要			
第14回	循環器疾患（1）			第29回	リウマチ性疾患～環境要因による疾患		
概要	総論 心臓の疾患			概要			
第15回	循環器疾患（2）			第30回	確認テスト⑥		
概要	不整脈各論～血管疾患			概要	神経疾患～環境要因による疾患		
成績評価の方法	定期試験（客観式および記述式筆記試験）で60点以上を合格とする						

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	リハビリテーション医学				対象学科	柔道整復師学科	
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道整復師を志すみなさんにとって”リハビリテーション”という言葉はきりはなせないものであります。広範囲ではありますが実際にどのようなものかを学びましょう。</p>							
教科書	リハビリテーション医学 改訂第3版 南江堂			参考書			
授業の概要							
第1回	リハビリテーションの概念と歴史			第16回	リハビリテーション医学と関連職種		
概要	概念			概要	関連職種		
第2回	リハビリテーション医学			第17回	リハビリテーションの実際 1		
概要	リハビリテーションと医学的リハビリテーション			概要	脳卒中		
第3回	リハビリテーションの基礎医学 1			第18回	リハビリテーションの実際 2		
概要	運動学と機能解剖			概要	脊髄損傷		
第4回	リハビリテーションの基礎医学 2			第19回	リハビリテーションの実際 3		
概要	上肢の運動と機能解剖			概要	小児疾患		
第5回	リハビリテーションの基礎医学 3			第20回	リハビリテーションの実際 4		
概要	治療学			概要	切断		
第6回	リハビリテーション医学の評価と診断 1			第21回	リハビリテーションの実際 5		
概要	患者のとらえ方			概要	末梢神経損傷		
第7回	リハビリテーション医学の評価と診断 2			第22回	リハビリテーションの実際 6		
概要	関節可動域測定法			概要	関節リウマチ		
第8回	リハビリテーション医学の評価と診断 3			第23回	リハビリテーションの実際 7		
概要	小児の運動発達の評価法			概要	整形外科疾患		
第9回	リハビリテーションの治療 1			第24回	リハビリテーションの実際 8		
概要	理学療法			概要	心疾患		
第10回	リハビリテーションの治療 2			第25回	リハビリテーションの実際 9		
概要	作業療法			概要	呼吸器疾患		
第11回	リハビリテーションの治療 3			第26回	リハビリテーションの実際 10		
概要	補装具、装具			概要	老人のリハビリテーション		
第12回	リハビリテーションの治療 4			第27回	リハビリテーションと福祉		
概要	義肢			概要	社会福祉法		
第13回	リハビリテーションの治療 5			第28回	総復習 1		
概要	移動補助具			概要			
第14回	リハビリテーションの治療 6			第29回	総復習 2		
概要	自助具と介助機器			概要			
第15回	リハビリテーションの治療 7			第30回	総復習 3		
概要	言語治療			概要			
成績評価の方法		前期および後期定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道実技審査に向けて、柔道の精神・体力・技の理合など基本的事項を理解させる。柔道経験がなく入学した学生の技能習熟の到達目標を柔道初段の取得に置き、初段程度の技量を習得させる。柔道の楽しさを知り、深める。得意技を作り、自由練習や試合等で生かすことができる。初段取得を目指す。</p>							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	1年次復習 注意事項			第16回	投の形(足技)		
概要	ガイドダンス(姿勢・礼法・受身)			概要	送足払・支釣込足・内股		
第2回	前方回転受身 投技復習			第17回	投の形(足技)		
概要	大腰・背負投・一本背負投			概要	送足払・支釣込足・内股		
第3回	前方回転受身 投技復習			第18回	投の形(足技)		
概要	背負落・釣込腰・体落			概要	送足払・支釣込足・内股		
第4回	投技(足技)			第19回	投の形(手技復習)		
概要	支釣込足・膝車・大外刈・小外刈			概要	浮落・背負投・肩車		
第5回	投技(足技・腰技)			第20回	投の形(手技復習)		
概要	小内刈・大内刈・出足払・送足払・払腰			概要	浮落・背負投・肩車		
第6回	体さばき→移動打込			第21回	投の形(腰技復習)		
概要	投の形(手技)浮落・背負投・肩車			概要	浮腰・払腰・釣込腰		
第7回	体さばき→移動打込			第22回	投の形(腰技復習)		
概要	投の形(手技)浮落・背負投・肩車			概要	浮腰・払腰・釣込腰		
第8回	体さばき→移動打込			第23回	投の形(足技復習)		
概要	投の形(手技)浮落・背負投・肩車			概要	送足払・支釣込足・内股		
第9回	抑技復習(全種類)			第24回	投の形(足技復習)		
概要	攻め方・返し技確認			概要	送足払・支釣込足・内股		
第10回	抑技復習(全種類)乱取含む			第25回	連続技(先の先)		
概要	攻め方・返し技確認・締技について			概要	研究して技を決め、約束乱取へ進む		
第11回	締技・関節技			第26回	連続技(先の先)		
概要	寝技乱取			概要	研究して技を決め、約束乱取へ進む		
第12回	投の形(腰技)			第27回	連続技(先の先)		
概要	浮腰・払腰・釣込腰			概要	研究して技を決め、約束乱取へ進む		
第13回	投の形(腰技)			第28回	連続技(後の先)		
概要	浮腰・払腰・釣込腰			概要	研究して技を決め、約束乱取へ進む		
第14回	投の形(腰技)			第29回	連続技(後の先)		
概要	浮腰・払腰・釣込腰			概要	研究して技を決め、約束乱取へ進む		
第15回	前期期末試験練習			第30回	後期期末試験練習		
概要	寝技(全種類)・投の形(手技・腰技)			概要	投の形(足技)・連続技		
成績評価の方法		実技審査同様の実技試験（礼法を含む）					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復学各論 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4 単位	授業時間	90 分	授業回数	60 回	履修学年	2 年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>上肢の各骨折について発生機序、特徴を理解し、整復法、固定法を学ぶ。</p>							
教科書	柔道整復理論			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	前腕骨骨折4		
概要				概要	前腕骨骨幹部骨折2		
第2回	鎖骨骨折1			第17回	前腕骨骨折5		
概要	鎖骨周辺の解剖			概要	前腕骨骨幹部骨折3		
第3回	鎖骨骨折2			第18回	前腕骨骨折6		
概要	鎖骨骨折詳細			概要	手関節の解剖		
第4回	肩甲骨骨折			第19回	前腕骨骨折7		
概要	肩甲骨の解剖、詳細			概要	前腕骨遠位端部骨折1		
第5回	上腕骨骨折1			第20回	前腕骨骨折8		
概要	上腕骨の解剖			概要	前腕骨遠位端部骨折2		
第6回	上腕骨骨折2			第21回	前腕骨骨折9		
概要	上腕骨近位端部骨折			概要	前腕骨遠位端部骨折3		
第7回	上腕骨骨折3			第22回	手・指の骨折1		
概要	上腕骨骨幹部骨折1			概要	手部の解剖		
第8回	上腕骨骨折4			第23回	手・指の骨折2		
概要	上腕骨骨幹部骨折2			概要	手根骨骨折1		
第9回	上腕骨骨折5			第24回	手・指の骨折3		
概要	肘関節の解剖			概要	手根骨骨折2		
第10回	上腕骨骨折6			第25回	手・指の骨折4		
概要	上腕骨遠位端部骨折1			概要	中手骨骨折1		
第11回	上腕骨骨折7			第26回	手・指の骨折5		
概要	上腕骨遠位端部骨折2			概要	中手骨骨折2		
第12回	前腕骨骨折1			第27回	手・指の骨折6		
概要	前腕骨遠位端部骨折1			概要	指骨骨折1		
第13回	前腕骨骨折2			第28回	手・指の骨折7		
概要	前腕骨遠位端部骨折2			概要	指骨骨折2		
第14回	前腕骨骨折3			第29回	後期のまとめ		
概要	前腕骨骨幹部骨折1			概要			
第15回	前期のまとめ			第30回	1年間の復習		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復学各論 I			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4 単位	授業時間	90 分	授業回数	60 回	履修学年	2 年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>下肢の各骨折について部位別の発生機序、症状を理解し、柔道整復師が施術のできる骨折を理解しそれに対する整復、固定の方法、手順と実技を理解する。</p>							
教科書	柔道整復学 理論編 実技編（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	骨盤骨折			第16回	膝蓋骨骨折		
概要	骨盤骨単独骨折について			概要	概要		
第2回	骨盤骨折			第17回	膝蓋骨骨折		
概要	裂離骨折 骨盤骨輪骨折について			概要	膝蓋骨骨折の整復、固定1		
第3回	大腿骨骨折			第18回	膝蓋骨骨折		
概要	概要			概要	膝蓋骨骨折の整復、固定2		
第4回	大腿骨骨折			第19回	下腿骨骨折		
概要	近位端部骨折			概要	近位端部骨折		
第5回	大腿骨骨折			第20回	下腿骨骨折		
概要	近位端部骨折の整復			概要	骨幹部骨折		
第6回	大腿骨骨折			第21回	下腿骨骨折		
概要	近位端部骨折の固定実技			概要	骨幹部骨折の整復		
第7回	大腿骨骨折			第22回	下腿骨骨折		
概要	骨幹部骨折			概要	骨幹部骨折の固定		
第8回	大腿骨骨折			第23回	下腿骨骨折		
概要	骨幹部骨折の整復			概要	遠位端部骨折と足関節脱臼骨折		
第9回	大腿骨骨折			第24回	下腿骨骨折		
概要	骨幹部骨折の固定			概要	遠位端部骨折と足関節脱臼骨折の整復		
第10回	大腿骨骨折			第25回	下腿骨骨折		
概要	遠位端部骨折			概要	遠位端部骨折と足関節脱臼骨折の固定		
第11回	大腿骨骨折			第26回	足・足指骨骨折		
概要	遠位端部骨折の整復			概要	遠位端部骨折と足関節脱臼骨折の固定		
第12回	大腿骨骨折			第27回	足・足指骨骨折		
概要	遠位端部骨折の固定			概要	足根骨骨折		
第13回	演習問題1			第28回	足・足指骨骨折		
概要	骨盤から大腿骨遠位端部までの確認			概要	中足骨骨折		
第14回	演習問題2			第29回	足・足指骨骨折		
概要	大腿骨骨幹部から遠位端部までの確認			概要	足指骨骨折		
第15回	まとめ			第30回	まとめ		
概要	前期のまとめ			概要	後期のまとめ		
成績評価の方法		定期試験の成績、授業への出席状況を基本とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復学各論Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
脱臼の総論と各論を理解して、認定実技や国家試験の問題を解答できるようにする。							
教科書	全国柔道整復学校協会柔道整復理論、実技			参考書	最初の授業で紹介します		
授業の概要							
第1回	授業の解説			第16回	前期の復習		
概要	1年間の授業の進め方			概要	前期の復習		
第2回	脱臼総論 1			第17回	股関節脱臼 1		
概要	1年の復習			概要	理論の説明		
第3回	脱臼総論 2			第18回	股関節脱臼 2		
概要	1年の復習			概要	整復法の説明		
第4回	肩鎖関節脱臼 1			第19回	股関節脱臼 3		
概要	理論の説明			概要	股関節脱臼の種類の説明		
第5回	肩鎖関節脱臼 2			第20回	膝関節脱臼 1		
概要	整復法の説明			概要	理論の説明		
第6回	肩関節脱臼 1			第21回	膝関節脱臼 2		
概要	理論の説明			概要	整復法の説明		
第7回	肩関節脱臼 2			第22回	膝蓋骨脱臼 1		
概要	整復法の説明			概要	理論の説明		
第8回	肩関節脱臼 3			第23回	膝蓋骨脱臼 2		
概要	肩関節脱臼の種類の説明			概要	整復法の説明		
第9回	肘関節脱臼 1			第24回	足部の脱臼 1		
概要	理論の説明			概要	理論の説明		
第10回	肘関節脱臼 2			第25回	足部の脱臼 2		
概要	整復法の説明			概要	整復法の説明		
第11回	上肢の脱臼まとめ			第26回	足部の脱臼 3		
概要	まとめ			概要	足部脱臼の種類の説明		
第12回	手関節及び指の脱臼 1			第27回	脱臼総論復習		
概要	理論の説明			概要	まとめ		
第13回	手関節及び指の脱臼 2			第28回	脱臼各論まとめ		
概要	整復法の説明			概要	まとめ		
第14回	手関節及び指の脱臼 3			第29回	脱臼各論まとめ		
概要	脱臼の種類の説明			概要	まとめ		
第15回	前期のまとめ			第30回	後期のまとめ		
概要	テストの説明			概要	テストの説明		
成績評価の方法		出席、中間テスト、期末テストの総合で評価します。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復学各論Ⅲ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
軟部組織損傷について学ぶ。臨床でも遭遇する機会が多いのでしっかりと理解する。							
教科書	柔道整復理論			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	上肢の軟部組織損傷8		
概要				概要			
第2回	頭部・顔面の軟部組織損傷			第17回	上肢の軟部組織損傷9		
概要				概要			
第3回	胸部の軟部組織損傷			第18回	上肢の軟部組織損傷10		
概要				概要			
第4回	脊椎の軟部組織損傷1			第19回	下肢の軟部組織損傷1		
概要				概要			
第5回	脊椎の軟部組織損傷2			第20回	下肢の軟部組織損傷2		
概要				概要			
第6回	脊椎の軟部組織損傷3			第21回	下肢の軟部組織損傷3		
概要				概要			
第7回	上肢の軟部組織損傷1			第22回	下肢の軟部組織損傷4		
概要				概要			
第8回	上肢の軟部組織損傷2			第23回	下肢の軟部組織損傷5		
概要				概要			
第9回	上肢の軟部組織損傷3			第24回	下肢の軟部組織損傷6		
概要				概要			
第10回	上肢の軟部組織損傷4			第25回	下肢の軟部組織損傷7		
概要				概要			
第11回	上肢の軟部組織損傷5			第26回	下肢の軟部組織損傷8		
概要				概要			
第12回	上肢の軟部組織損傷6			第27回	下肢の軟部組織損傷9		
概要				概要			
第13回	上肢の軟部組織損傷7			第28回	下肢の軟部組織損傷10		
概要				概要			
第14回	小テスト			第29回	小テスト		
概要				概要			
第15回	前期のまとめ			第30回	後期のまとめ		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	包帯実技			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	2年
分野	専門	実技		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>基本的な包帯についての知識を学び、様々な固定法を実践できるようにする。</p>							
教科書	柔道整復学理論・実技編、包帯固定学			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション						
概要							
第2回	基本包帯法						
概要							
第3回	冠名包帯法						
概要							
第4回	部位別包帯法						
概要	上肢						
第5回	部位別包帯法						
概要	下肢						
第6回	治療法						
概要	整復法について						
第7回	治療法						
概要	固定法について						
第8回	治療法						
概要	後療法について						
第9回	治療法						
概要	後療法について						
第10回	治療法						
概要	指導管理について						
第11回	スポーツ外傷の治療法						
概要	腱板・上腕二頭筋腱損傷						
第12回	スポーツ外傷の治療法						
概要	大腿部損傷						
第13回	スポーツ外傷の治療法						
概要	膝周囲の損傷						
第14回	スポーツ外傷の治療法						
概要	下腿・足部の損傷						
第15回	試験対策						
概要							
成績評価の方法		定期試験の得点 出席率 授業態度					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	90回	履修学年	2年
分野	専門	実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道整復師としての自覚やモラルの教育又理論のみではなく損傷箇所に応じた整復法・固定法・後療法の実技。将来臨床の場に出たときにしっかりと対応できる様に確かな技術の修得を目指します。</p>							
教科書	柔道整復学 実技編			参考書	柔道整復外傷学ハンドブック		
授業の概要							
第1回	各部の骨折・脱臼の鑑別 診断法			第16回	手指骨骨折		
概要	患者さんへの接し方・医療人としての対応			概要	マレット		
第2回	顎関節脱臼			第17回	手指骨脱臼		
概要	前方脱臼			概要			
第3回	鎖骨骨折			第18回	骨盤骨折		
概要				概要			
第4回	鎖骨脱臼			第19回	股関節脱臼		
概要	肩鎖関節・胸鎖関節			概要	後方脱臼		
第5回	肋骨骨折			第20回	大腿骨骨折		
概要	疲労骨折も含む又気胸・血胸			概要	頸部・骨幹部		
第6回	肩関節骨折			第21回	膝蓋骨骨折		
概要	外科頸(外転型・内転型)			概要			
第7回	肩関節脱臼			第22回	膝蓋骨脱臼		
概要	前方脱臼			概要	外側脱臼		
第8回	上腕骨骨折・上腕骨近位骨端線離開			第23回	下腿骨骨折		
概要	骨幹部			概要	ブーツトップ骨折・顎部骨折		
第9回	肘関節骨折			第24回	足根骨骨折		
概要	顆上・外顆・内側上顆・肘頭・モンテギア			概要	距骨骨折・踵骨骨折		
第10回	肘関節脱臼			第25回	足部脱臼		
概要	後方脱臼・肘内障も含む			概要	ショパール・リスフラン		
第11回	前腕骨骨折(遠位端)			第26回	中足骨骨折		
概要	コーレス・スミス・バートン・骨端線離開			概要	骨幹部・第5中足骨基底部分裂離・ジョーンズ		
第12回	手根骨骨折			第27回	足趾骨骨折		
概要	舟状骨・月状骨			概要			
第13回	手根骨脱臼			第28回	足趾骨脱臼		
概要	月状骨			概要			
第14回	中手骨骨折			第29回	前期・後期の総まとめ		
概要	頸部・骨幹部・ベネット・ボクサー			概要	ディスカッション		
第15回	前期定期試験の予習			第30回	後期定期試験の予習		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験の結果・出席状況・授業の態度から総合的に評価します。また個人の努力も評価要素と致します。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	90回	履修学年	2年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
認定実技審査の対策授業（整復）と 国家試験対策の授業をします。							
教科書	全国柔道整復学校協会柔道整復理論、実技			参考書	最初の授業で紹介します		
授業の概要							
第31回	授業の解説			第46回	肩鎖関節脱臼テスト		
概要	1年間の授業の進め方			概要	ロールプレイテスト		
第32回	肩関節脱臼の整復			第47回	股関節脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第33回	肩関節脱臼の整復			第48回	膝蓋骨脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第34回	肩関節脱臼の固定			第49回	膝蓋骨脱臼の固定		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第35回	肩関節脱臼の固定			第50回	膝蓋骨脱臼の固定		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第36回	肩関節脱臼			第51回	手・指の脱臼の整復		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説と練習		
第37回	肘関節脱臼の整復			第52回	手・指の脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第38回	肘関節脱臼の整復			第53回	手・指の脱臼の固定		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第39回	肘関節脱臼の固定			第54回	手・指の脱臼の固定		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第40回	肘関節脱臼の固定			第55回	足・指の脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第41回	肘関節脱臼			第56回	足・指の脱臼の整復		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説と練習		
第42回	肩鎖関節脱臼の整復			第57回	足・指の脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第43回	肩鎖関節脱臼の整復			第58回	足・指の脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第44回	肩鎖関節脱臼の固定			第59回	足・指の脱臼の整復		
概要	解説と練習			概要			
第45回	肩鎖関節脱臼の固定			第60回	脱臼のまとめ		
概要	解説と練習			概要	まとめ		
成績評価の方法		出席、中間テスト、期末テストの総合で評価します。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	90回	履修学年	2年
分野	専門	実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
臨床現場での実技を学ぶ。							
教科書	柔道整復学理論・実技			参考書			
授業の概要							
第1回	スポーツ臨床学			第16回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第2回	スポーツ臨床学			第17回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第3回	スポーツ臨床学			第18回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第4回	スポーツ臨床学			第19回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第5回	スポーツ臨床学			第20回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第6回	スポーツ臨床学			第21回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第7回	スポーツ臨床学			第22回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第8回	スポーツ臨床学			第23回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第9回	スポーツ臨床学			第24回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第10回	スポーツ臨床学			第25回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第11回	スポーツ臨床学			第26回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第12回	スポーツ臨床学			第27回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第13回	スポーツ臨床学			第28回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第14回	スポーツ臨床学			第29回	スポーツ臨床学		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ障害理論、実技		
第15回	スポーツ臨床学			第30回	総括		
概要	スポーツ障害理論、実技			概要	スポーツ理論総括		
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床実習			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1 単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	専門	実習		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>柔道整復師の臨床現場では、幅広い年齢層の患者さんを対象とする。その為コミュニケーション能力が必要とされる。臨床実習では言葉づかい・挨拶・医療人としての倫理観や立振る舞いを身につけることを目標とする。</p>							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	ガイダンス			第16回	触診		
概要	注意事項 実習について			概要	外傷の診方		
第2回	ガイダンス			第17回	触診		
概要	柔道整復師 業務について			概要	外傷の診方		
第3回	ガイダンス			第18回	触診		
概要	レポートについて			概要	外傷の診方		
第4回	基本事項			第19回	触診		
概要	掃除・挨拶・医療機器の説明			概要	外傷の診方		
第5回	基本事項			第20回	触診		
概要	掃除・挨拶・医療機器の説明			概要	外傷の診方		
第6回	基本事項			第21回	触診		
概要	掃除・挨拶・医療機器の説明			概要	外傷の診方		
第7回	基本事項			第22回	固定法		
概要	掃除・挨拶・医療機器の説明			概要	包帯法・テーピング		
第8回	基本事項			第23回	固定法		
概要	掃除・挨拶・医療機器の説明			概要	包帯法・テーピング		
第9回	医療面接			第24回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第10回	医療面接			第25回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第11回	医療面接			第26回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第12回	医療面接			第27回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第13回	医療面接			第28回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第14回	医療面接			第29回	固定法		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	包帯法・テーピング		
第15回	医療面接			第30回	まとめ		
概要	問診の取り方・バイタルチェック			概要	総括実習		
成績評価の方法		出欠席・実習態度・レポートにて総合評価					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	国家試験対策（リハビリテーション医学）			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位		授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野		講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
国家試験に出題されやすい分野を中心に対策する。							
教科書	リハビリテーション医学			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	リハビリテーションの治療		
概要				概要			
第2回	リハビリテーションの概念と歴史			第17回	リハビリテーションの治療		
概要				概要			
第3回	リハビリテーション医学			第18回	リハビリテーションの治療		
概要				概要			
第4回	リハビリテーション医学			第19回	リハビリテーションの治療		
概要				概要			
第5回	リハビリテーション医学の基礎医学			第20回	補装具を用いた実習		
概要				概要	車椅子、杖、装具を用いる		
第6回	リハビリテーション医学の基礎医学			第21回	補装具を用いた実習		
概要				概要	車椅子、杖、装具を用いる		
第7回	リハビリテーション医学の基礎医学			第22回	リハビリテーション医学と関連職種		
概要				概要			
第8回	リハビリテーション医学の基礎医学			第23回	リハビリテーション医学の実際		
概要				概要			
第9回	リハビリテーション医学の評価と診断			第24回	リハビリテーション医学の実際		
概要				概要			
第10回	リハビリテーション医学の評価と診断			第25回	リハビリテーション医学の実際		
概要				概要			
第11回	リハビリテーション医学の評価と診断			第26回	リハビリテーション医学の実際		
概要				概要			
第12回	リハビリテーション医学の評価と診断			第27回	リハビリテーション医学の実際		
概要				概要			
第13回	リハビリテーション医学の評価と診断			第28回	リハビリテーションと福祉		
概要				概要			
第14回	リハビリテーション医学の評価と診断			第29回	小テスト		
概要				概要			
第15回	小テスト			第30回	試験対策		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験の得点 出席率 授業態度					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	国家試験対策（生理学）			対象学科	柔道整復師学科	
授業単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	2年
分野	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい						
<p>人体の正常な働き・機能を単元別に理解する。各単元において解剖学的知識（人体の正常な構造・形態）が必要なときは、プロジェクター等を使用し、生理学の知識を獲得しやすいようにする。さらに各単元終了後には小テストを実施し、理解度を確認したい。</p>						
教科書	生理学（学校協会編）		参考書	ネッター解剖学アトラス・イラスト解剖学・トートラ人体解剖生理学		
授業の概要						
第1回	運動器(骨格系)の解剖学①		第16回	運動器(筋系)の解剖学①		
概要			概要			
第2回	運動器(骨格系)の解剖学②		第17回	運動器(筋系)の解剖学②		
概要			概要			
第3回	骨の生理学		第18回	運動器(筋系)の解剖学③		
概要			概要			
第4回	体液の生理学		第19回	筋肉の機能①		
概要			概要			
第5回	神経の基本的機能①		第20回	筋肉の機能②		
概要			概要			
第6回	神経の基本的機能②		第21回	感覚器の解剖学①		
概要			概要			
第7回	神経系の解剖学①		第22回	感覚器の解剖学②		
概要			概要			
第8回	神経系の解剖学②		第23回	感覚の生理学①		
概要			概要			
第9回	神経系の解剖学③		第24回	感覚の生理学②		
概要			概要			
第10回	神経系の解剖学④		第25回	臨床医学 総論		
概要			概要	一般臨床医学との関連		
第11回	神経系の機能①		第26回	症状とその臨床的意義①		
概要			概要			
第12回	神経系の機能②		第27回	症状とその臨床的意義②		
概要			概要			
第13回	神経系の機能③		第28回	症状とその臨床的意義③		
概要			概要			
第14回	神経系の機能④		第29回	症状とその臨床的意義④		
概要			概要			
第15回	前期試験対策		第30回	後期試験対策		
概要			概要			
成績評価の方法			定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	外科学概論			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	3年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
1. 柔道整復師として知るべき外科学の基本的な知識と考え方を身につける。 2. 柔道整復師の業務に関係の深い概念については簡潔に説明できる。							
教科書	全国柔道整復学校協会監修 外科学概論 改訂第4版			参考書			
授業の概要							
第1回	外科学とは 損傷（1）			第16回	確認テスト③		
概要	損傷			概要	麻酔～心肺蘇生法		
第2回	損傷（2）			第17回	脳神経外科疾患（1）		
概要	創傷 熱傷			概要	主要徴候～頭部外傷		
第3回	炎症と外科感染症			第18回	脳神経外科疾患（2）		
概要				概要	脳血管障害 脳腫瘍		
第4回	腫瘍（1）			第19回	甲状腺・頸部疾患		
概要	概念～発育形式			概要	胸壁・呼吸器疾患（1）総論 肺腫瘍		
第5回	腫瘍（2）			第20回	胸壁・呼吸器疾患（2）		
概要	症状 診断 治療 疫学			概要	その他の肺疾患 胸膜疾患 胸部外傷		
第6回	確認テスト①			第21回	確認テスト④		
概要	損傷～腫瘍			概要			
第7回	ショック			第22回	心臓疾患		
概要				概要			
第8回	輸血・輸液（1）			第23回	脈管疾患		
概要	輸血			概要			
第9回	輸血・輸液（2）			第24回	乳腺疾患		
概要	輸液			概要			
第10回	消毒と滅菌 手術			第25回	確認テスト⑤		
概要				概要	心臓疾患 脈管疾患 乳腺疾患		
第11回	確認テスト②			第26回	腹部外科疾患（1）		
概要	ショック～手術			概要	総論		
第12回	麻酔			第27回	腹部外科疾患（2）		
概要				概要	食道 胃・十二指腸 大腸疾患		
第13回	移植と免疫			第28回	腹部外科疾患（3）		
概要				概要	肝・胆・膵疾患 急性虫垂炎 ヘルニア		
第14回	出血と止血			第29回	腹部外科疾患（4）		
概要				概要	イレウス 肛門疾患 腹部外傷		
第15回	心肺蘇生法			第30回	確認テスト⑥		
概要				概要	腹部外科疾患		
成績評価の方法		定期試験（客観式および記述式筆記試験）で60点以上を合格とする					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	整形外科学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	3年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
整形外科学は、四肢の外傷にとどまらず、変形性関節症に代表される退行性疾患、関節リウマチ等の非化膿性炎症性疾患、脊椎疾患、末梢神経傷害、骨軟部腫瘍等骨・関節のみならず筋・腱・末梢神経・血管を含む幅広い分野をその対象としている。また、その診断技術や手術を含めた治療方法について近代整形外科学をもとにした柔道整復臨床に必要と考えられる知識を理解する。							
教科書	整形外科（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	整形外科とは			第16回	感染性疾患		
概要	整形外科とは			概要	感染性疾患		
第2回	運動器の基礎知識			第17回	骨腫瘍		
概要	運動器の基礎知識			概要	骨腫瘍		
第3回	運動器の基礎知識			第18回	骨関節疾患		
概要	運動器の基礎知識			概要	骨関節疾患		
第4回	診察法			第19回	全身性の骨疾患		
概要	診察法			概要	全身性の骨疾患		
第5回	診察法			第20回	骨端症		
概要	診察法			概要	骨端症		
第6回	検査法			第21回	循環障害		
概要	検査法			概要	循環障害		
第7回	検査法			第22回	神経疾患		
概要	検査法			概要	神経疾患		
第8回	治療法			第23回	神経疾患		
概要	治療法			概要	神経疾患		
第9回	治療法			第24回	身体部位各論		
概要	治療法			概要	体幹部		
第10回	骨関節損傷			第25回	身体部位各論		
概要	骨関節損傷			概要	胸部		
第11回	骨関節損傷			第26回	身体部位各論		
概要	骨関節損傷			概要	腰部		
第12回	骨関節損傷			第27回	身体部位各論		
概要	骨関節損傷			概要	上肢		
第13回	スポーツ障害			第28回	身体部位各論		
概要	スポーツ障害			概要	下肢		
第14回	リハビリテーション総論			第29回	身体部位各論		
概要	リハビリテーション総論			概要	総括		
第15回	まとめ			第30回	まとめ		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験の成績、授業への出席状況を基本とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道Ⅲ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	1単位	授業時間	90分	授業回数	15回	履修学年	3年
分野	専門基礎	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
<ul style="list-style-type: none"> ・柔道を得意にし、生涯にわたって柔道に親しむ。 ・技の連絡変化（連続技）を身に付け、得意技を磨く。 ・投の形・柔の形をしっかりと習得する。 							
教科書				参考書			
授業の概要							
第1回	2年次復習・注意事項						
概要	ガイダンス(実技審査の流れ)						
第2回	投の形(手技)受取交代						
概要	約束乱取 連続技						
第3回	投の形(手技)受取交代						
概要	約束乱取 連続技						
第4回	投の形(腰技) 受取交代						
概要	連続技 約束乱取						
第5回	投の形(腰技) 受取交代						
概要	連続技 約束乱取						
第6回	投の形(足技) 受取交代						
概要	連続技 約束乱取						
第7回	投の形(足技) 受取交代						
概要	連続技 約束乱取						
第8回	全体のレベルを上げる						
概要	ポイントをつかみ意識する						
第9回	全体を通して練習						
概要	入退場練習						
第10回	全体を通して練習						
概要	タイムキーパーを使って						
第11回	全体を通して練習						
概要	タイムキーパーを使って						
第12回	投の形(手技)受取交代						
概要	実技審査通りにまとめ						
第13回	投の形(腰技) 受取交代						
概要	実技審査通りにまとめ						
第14回	投の形(足技) 受取交代						
概要	実技審査通りにまとめ						
第15回	前期期末試験練習						
概要	全体のまとめ						
成績評価の方法		認定実技審査同様の実技試験 5分以内					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	関係法規			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	2単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	3年
分野	専門基礎	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
柔道整復師が医療に携わる者として必要な法令を学び、倫理観を持つ。							
教科書	関係法規			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	柔道整復師法とその関連内容10		
概要				概要	罰則1		
第2回	序論1			第17回	柔道整復師法とその関連内容11		
概要	法の意義、体系			概要	罰則2		
第3回	序論2			第18回	柔道整復師法とその関連内容12		
概要	柔道整復師に関する法律			概要	指定登録機関及び指定試験		
第4回	序論3			第19回	柔道整復師法とその関連内容13		
概要	患者の権利			概要	附則		
第5回	柔道整復師法とその関連内容1			第20回	関係法規1		
概要	柔道整復師法の目的			概要	医療従事者の資格法1		
第6回	柔道整復師法とその関連内容2			第21回	関係法規2		
概要	柔道整復師免許			概要	医療従事者の資格法2		
第7回	柔道整復師法とその関連内容3			第22回	関係法規3		
概要	柔道整復師名簿			概要	医療従事者の資格法3		
第8回	柔道整復師法とその関連内容4			第23回	関係法規4		
概要	柔道整復師国家試験			概要	医療法1		
第9回	柔道整復師法とその関連内容5			第24回	関係法規5		
概要	合格証書と合格証明書			概要	医療法2		
第10回	柔道整復師法とその関連内容6			第25回	関係法規6		
概要	業務1			概要	医療法3		
第11回	柔道整復師法とその関連内容7			第26回	関係法規7		
概要	業務2			概要	社会福祉関係法規		
第12回	柔道整復師法とその関連内容8			第27回	関係法規8		
概要	施術所			概要	社会保険関係法規		
第13回	柔道整復師法とその関連内容9			第28回	関係法規9		
概要	雑則			概要	その他の関係法規		
第14回	前期のまとめ			第29回	後期のまとめ		
概要				概要			
第15回	小テスト			第30回	小テスト		
概要				概要	1年間の復習		
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	75回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
総論中心に復習していく。							
教科書	柔道整復学理論編			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	関節の損傷		
概要				概要			
第2回	柔道整復術とは			第17回	関節の構成に関わる組織の損傷		
概要				概要			
第3回	柔道整復の業務範囲			第18回	靭帯の損傷		
概要				概要			
第4回	柔道整復術を施すための心構え			第19回	関節周辺を通過あるいは起始停止する筋・腱の損傷		
概要				概要			
第5回	身体の基礎的状态			第20回	関節部に分布あるいは通過する神経・血管の損傷		
概要				概要			
第6回	損傷時に加わる力			第21回	捻挫		
概要				概要			
第7回	骨折の定義			第22回	脱臼		
概要				概要			
第8回	骨損傷の分類			第23回	脱臼の原因による分類		
概要				概要			
第9回	骨折の程度による分類			第24回	脱臼固有症状		
概要				概要			
第10回	骨折の固有症状			第25回	打撲		
概要				概要			
第11回	骨折時の全身症状			第26回	軟部組織損傷		
概要				概要			
第12回	骨折の治癒に影響を与える因子			第27回	末梢神経の損傷		
概要				概要			
第13回	偽関節の発生原因			第28回	血管系、リンパ系の損傷		
概要				概要			
第14回	まとめ			第29回	まとめ		
概要				概要			
第15回	小テスト			第30回	小テスト		
概要				概要			
成績評価の方法		定期試験等					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	75回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>認定実技審査までは「柔道整復実技 包帯の部」を中心に授業を行う。審査後は国家試験対策として出題率の高い分野を学習していく。</p>							
教科書	包帯固定学、柔道整復学・理論			参考書			
授業の概要							
第1回	オリエンテーション			第16回	認定実技審査対策		
概要				概要	認定実技審査について詳細説明		
第2回	認定実技審査対策			第17回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要			
第3回	認定実技審査対策			第18回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要			
第4回	認定実技審査対策			第19回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要			
第5回	認定実技審査対策			第20回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要			
第6回	認定実技審査対策			第21回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要			
第7回	認定実技審査対策			第22回	認定実技審査対策		
概要	基本包帯法			概要	リハーサル		
第8回	中間試験			第23回	認定実技審査対策		
概要				概要	リハーサル		
第9回	認定実技審査対策			第24回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第10回	認定実技審査対策			第25回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第11回	認定実技審査対策			第26回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第12回	認定実技審査対策			第27回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第13回	認定実技審査対策			第28回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第14回	認定実技審査対策			第29回	国家試験対策		
概要	冠名包帯法			概要			
第15回	前期期末試験対策			第30回	国家試験対策		
概要				概要			
成績評価の方法		実技試験、筆記試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	5単位	授業時間	90分	授業回数	75回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		前期	
授業の目標・ねらい							
<p>認定実技試験に向けて、基本包帯・固定法を学ぶ。認定実技試験の為の包帯学・固定法をもう一度復習しながらどの科目が当たってもよい状態を目指す。</p>							
教科書	柔道整復学実技・包帯固定学			参考書			
授業の概要							
第61回	復習						
	概要						
第62回	復習						
	概要						
第63回	基本包帯						
	概要						
第64回	柔道整復実技						
	概要						
第65回	基本包帯						
	概要						
第66回	柔道整復実技						
	概要						
第67回	柔道整復実技模擬試験						
	概要						
第68回	柔道整復実技模擬試験						
	概要						
第69回	認定実技審査対策						
	概要						
第70回	認定実技審査対策						
	概要						
第71回	国家試験対策						
	概要 公衆衛生学						
第72回	国家試験対策						
	概要 公衆衛生学						
第73回	国家試験対策						
	概要 公衆衛生学						
第74回	国家試験対策						
	概要 公衆衛生学						
第75回	国家試験対策						
	概要 リハビリテーション医学						
成績評価の方法		定期試験					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>認定実技試験に向けて、固定法を学ぶ。認定実技試験の為の固定法を復習しながらどの固定法にも対応出来る実践力をつける。</p>							
教科書	柔道整復学・実技編（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	ガイダンス 他			第16回	復習		
概要	肩鎖関節上方脱臼 固定			概要			
第2回	肩関節前方脱臼 固定			第17回	復習		
概要				概要			
第3回	肩関節前方脱臼 固定			第18回	認定実技対策練習		
概要				概要			
第4回	肘関節後方脱臼 固定			第19回	認定実技対策練習		
概要				概要			
第5回	肘関節後方脱臼 固定			第20回	認定実技対策練習		
概要				概要			
第6回	コーレス骨折 固定			第21回	国家試験対策1		
概要				概要	(柔道整復学)		
第7回	コーレス骨折 固定			第22回	国家試験対策2		
概要				概要	(柔道整復学)		
第8回	鎖骨骨折 固定			第23回	国家試験対策3		
概要				概要	(柔道整復学)		
第9回	鎖骨骨折 固定			第24回	国家試験対策4		
概要				概要	(柔道整復学)		
第10回	上腕骨骨幹部骨折 固定			第25回	国家試験対策5		
概要				概要	(柔道整復学)		
第11回	上腕骨骨幹部骨折 固定			第26回	国家試験対策6		
概要				概要	(柔道整復学)		
第12回	第5中手骨頸部骨折 固定			第27回	国家試験対策7		
概要				概要	(柔道整復学)		
第13回	手第2指PIP関節背側脱臼 固定			第28回	国家試験対策8		
概要				概要	(柔道整復学)		
第14回	肋骨骨折			第29回	国家試験対策9		
概要				概要	(柔道整復学)		
第15回	前期まとめ			第30回	国家試験対策10		
概要				概要	(柔道整復学)		
成績評価の方法		定期試験（実技試験）・出席率					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
認定実技審査の軟部組織損傷科目を5分間で実践できるようにする。							
教科書	柔道整復学理論・実技編			参考書			
授業の概要							
第31回	オリエンテーション			第46回	下肢の軟部組織損傷		
概要				概要	膝十字靭帯損傷		
第32回	基本包帯			第47回	下肢の軟部組織損傷		
概要				概要	膝十字靭帯損傷		
第33回	上肢の軟部組織損傷			第48回	下肢の軟部組織損傷		
概要	腱板損傷			概要	膝側副靭帯損傷		
第34回	上肢の軟部組織損傷			第49回	下肢の軟部組織損傷		
概要	腱板損傷			概要	膝側副靭帯損傷		
第35回	上肢の軟部組織損傷			第50回	復習		
概要	上腕二頭筋腱損傷			概要			
第36回	上肢の軟部組織損傷			第51回	下肢の軟部組織損傷		
概要	上腕二頭筋腱損傷			概要	腓腹筋肉離れ		
第37回	下肢の軟部組織損傷			第52回	下肢の軟部組織損傷		
概要	大腿部肉離れ			概要	腓腹筋肉離れ		
第38回	下肢の軟部組織損傷			第53回	下肢の軟部組織損傷		
概要	大腿部肉離れ			概要	アキレス腱断裂		
第39回	下肢の軟部組織損傷			第54回	下肢の軟部組織損傷		
概要	ハムストリングス肉離れ			概要	アキレス腱断裂		
第40回	下肢の軟部組織損傷			第55回	下肢の軟部組織損傷		
概要	ハムストリングス肉離れ			概要	足関節捻挫		
第41回	復習			第56回	下肢の軟部組織損傷		
概要				概要	足関節捻挫		
第42回	復習			第57回	復習		
概要				概要			
第43回	下肢の軟部組織損傷			第58回	口頭試問対策		
概要	膝半月板損傷			概要			
第44回	下肢の軟部組織損傷			第59回	総復習		
概要	膝半月板損傷			概要			
第45回	下肢の軟部組織損傷			第60回	試験対策		
概要	膝十字靭帯損傷			概要			
成績評価の方法		定期試験の得点 出席率 授業態度					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>疾病の予防、健康の保持。増進を目的とした衛生学・公衆衛生学の意義と各論を系統的に学び、地域保健活動や予防医学活動の重要性について認識を深めていきます。人々が健康を享受するための望ましい社会制度や組織活動について再度学び、1年で行った内容の再確認と国試に向けての対策を行う。</p>							
教科書	衛生学・公衆衛生学（学校協会）			参考書			
授業の概要							
第61回	衛生学・公衆衛生学			第76回	母子保健		
概要	衛生学・公衆衛生学の概要			概要	学校保健の意義		
第62回	健康の概念			第77回	産業保健		
概要	健康の定義 人口統計、健康水準、健康指標			概要	産業保健の目的 職業病		
第63回	疾病予防と健康管理			第78回	成人、高齢者保健		
概要	予防の概念			概要	生活習慣病、老人の健康状況		
第64回	疾病予防と健康管理			第79回	精神保健		
概要	生活習慣と疾病、集団検診			概要	精神保健の意義と精神障害者の現状		
第65回	感染症の予防			第80回	地域保健と国際保健		
概要	感染症の成立 感染の種類			概要	地域保健活動の現状、国際協力		
第66回	感染症の予防			第81回	衛生行政と保健医療の制度		
概要	ウイルス性感染症			概要	衛生行政機構、医療保険の現状		
第67回	感染症の予防			第82回	医療の倫理と安全確保		
概要	細菌性感染症			概要	医療倫理、医療事故の防止		
第68回	感染症の予防			第83回	疫学		
概要	その他の感染症			概要	疫学とは、疫学の3要因、疫学モデル		
第69回	感染症の予防			第84回	疫学		
概要	我が国の感染症流行の動向			概要	疫学調査の手順と留意事項		
第70回	感染症の予防			第85回	まとめ		
概要	感染症のまとめ			概要	後期のまとめ1		
第71回	消毒			第86回	まとめ		
概要	消毒とは			概要	後期のまとめ2		
第72回	環境保健			第87回	まとめ		
概要	公害について			概要	全体のまとめ1		
第73回	生活環境・食品衛生活動			第88回	まとめ		
概要	水・食品			概要	全体のまとめ2		
第74回	まとめ			第89回	まとめ		
概要	前期のまとめ1			概要	全体のまとめ3		
第75回	まとめ			第90回	まとめ		
概要	前期のまとめ2			概要	全体のまとめ4		
成績評価の方法	定期試験の成績、授業への出席状況を基本とする。						

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
実技認定試験・筆記試験合格のための対策授業。							
教科書	柔道整復学理論			参考書			
授業の概要							
第91回	国家試験対策			第106回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第92回	国家試験対策			第107回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第93回	国家試験対策			第108回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第94回	国家試験対策			第109回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第95回	国家試験対策			第110回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第96回	国家試験対策			第111回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第97回	国家試験対策			第112回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第98回	国家試験対策			第113回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第99回	国家試験対策			第114回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第100回	国家試験対策			第115回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第101回	国家試験対策			第116回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第102回	国家試験対策			第117回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第103回	国家試験対策			第118回	国家試験対策		
概要	柔道整復学 模試			概要	柔道整復学 模試		
第104回	国家試験対策			第119回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第105回	復習			第120回	復習		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>●国家試験レベルの問題で80%以上の正答率となるように、身体の構造を单元ごとに復習し系統的に理解する。</p> <p>●認定実技審査では口頭試問が課題の一つである。柔整理論を復習するとともに、解剖学・柔整実技などとも合わせて見直し、口頭試問をとれるようにする。</p>							
教科書	解剖学 改訂第2版（医歯薬出版）			参考書	ネットー解剖学アトラス（南江堂） プロメテウス解剖学アトラス（医学書院）		
授業の概要							
第121回	国家試験対策1			第136回	骨折総論		
概要	解剖学総論・組織学・発生学			概要			
第122回	国家試験対策2			第137回	脱臼総論		
概要	骨の構造			概要			
第123回	国家試験対策3			第138回	軟部組織損傷総論 治療法		
概要	筋の構造			概要			
第124回	国家試験対策4			第139回	骨折各論		
概要	脈管系			概要	鎖骨骨折		
第125回	国家試験対策5			第140回	骨折各論		
概要	消化器系			概要	外科頸骨折		
第126回	国家試験対策6			第141回	骨折各論		
概要	呼吸器系			概要	コーレス骨折		
第127回	国家試験対策7			第142回	脱臼各論		
概要	泌尿器系			概要	肩鎖関節脱臼		
第128回	国家試験対策8			第143回	脱臼各論		
概要	生殖器系			概要	肩関節脱臼		
第129回	国家試験対策9			第144回	脱臼各論		
概要	内分泌系			概要	肘関節脱臼		
第130回	国家試験対策10			第145回	軟部組織損傷各論		
概要	中枢神経系1			概要	腱板損傷 上腕二頭筋長頭腱損傷		
第131回	国家試験対策11			第146回	軟部組織損傷各論		
概要	中枢神経系2			概要	大腿四頭筋 ハムストリングス肉離れ		
第132回	国家試験対策12			第147回	軟部組織損傷各論		
概要	末梢神経系1			概要	膝十字靭帯 側副靭帯 半月板損傷		
第133回	国家試験対策13			第148回	軟部組織損傷各論		
概要	末梢神経系2			概要	下腿肉離れ アキレス腱断裂		
第134回	国家試験対策14			第149回	軟部組織損傷各論		
概要	感覚器系			概要	足関節捻挫		
第135回	国家試験対策15			第150回	まとめ		
概要	解剖学 総復習			概要			
成績評価の方法		定期試験（100点満点）により評価し、60点以上を合格とする。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	臨床柔道整復学			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	11単位	授業時間	90分	授業回数	165回	履修学年	3年
分野	専門	講義		必修		後期	
授業の目標・ねらい							
教科書	柔道整復学・実技編（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第151回	国家試験対策						
概要	リハビリテーション医学						
第152回	国家試験対策						
概要	リハビリテーション医学						
第153回	国家試験対策						
概要	リハビリテーション医学						
第154回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第155回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第156回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第157回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第158回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第159回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第160回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第161回	国家試験対策						
概要	一般臨床						
第162回	国家試験対策						
概要	複合						
第163回	国家試験対策						
概要	複合						
第164回	国家試験対策						
概要	複合						
第165回	国家試験対策						
概要	複合						
成績評価の方法		認定実技試験の結果に準ずる					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技Ⅲ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4単位	授業時間	90分	授業回数	60回	履修学年	3年
分野	専門	実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
認定実技審査の対策授業（整復）と 国家試験対策の授業をします。							
教科書	全国柔道整復学学校協会柔道整復理論、実技			参考書	最初の授業で紹介します		
授業の概要							
第1回	授業の解説			第16回	脱臼テスト		
概要	1年間の授業の進め方			概要	ロールプレイト		
第2回	授業の解説			第17回	コーレス骨折		
概要	1年間の授業の進め方			概要	解説と練習		
第3回	肩関節脱臼			第18回	コーレス骨折		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第4回	肩関節脱臼			第19回	コーレス骨折		
概要	解説と練習			概要	ロールプレイト		
第5回	肩関節脱臼			第20回	コーレス骨折		
概要	ロールプレイト			概要	ロールプレイト		
第6回	肩関節脱臼			第21回	鎖骨骨折		
概要	ロールプレイト			概要	解説と練習		
第7回	肘関節脱臼			第22回	鎖骨骨折		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第8回	肘関節脱臼			第23回	鎖骨骨折		
概要	解説と練習			概要	ロールプレイト		
第9回	肘関節脱臼			第24回	鎖骨骨折		
概要	ロールプレイト			概要	ロールプレイト		
第10回	肘関節脱臼			第25回	上腕骨外科頸骨折		
概要	ロールプレイト			概要	解説と練習		
第11回	肩鎖関節脱臼			第26回	上腕骨外科頸骨折		
概要	解説と練習			概要	解説と練習		
第12回	肩鎖関節脱臼			第27回	上腕骨外科頸骨折		
概要	解説と練習			概要	ロールプレイト		
第13回	肩鎖関節脱臼			第28回	上腕骨外科頸骨折		
概要	ロールプレイト			概要	ロールプレイト		
第14回	肩鎖関節脱臼			第29回	骨折テスト		
概要	ロールプレイト			概要	ロールプレイト		
第15回	脱臼テスト			第30回	骨折テスト		
概要	ロールプレイト			概要	ロールプレイト		
成績評価の方法	認定実技の成績と国試対策の成績で判断します。						

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	柔道整復実技Ⅲ			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	4単位	授業時間	90分	授業回数	60回	履修学年	3年
分野	専門	実技		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
認定実技審査の対策授業（整復）と 国家試験対策の授業をします。							
教科書	全国柔道整復学学校協会柔道整復理論、実技			参考書	最初の授業で紹介します		
授業の概要							
第31回	脱臼テスト			第46回	認定実技審査練習6		
概要	ロールプレイテスト			概要	ロールプレイテスト		
第32回	脱臼テスト			第47回	認定実技試験まとめ		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説		
第33回	骨折テスト			第48回	認定実技試験まとめ		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説		
第34回	骨折テスト			第49回	国家試験対策説明		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説		
第35回	認定実技審査練習1			第50回	国家試験対策説明		
概要	ロールプレイテスト			概要	解説		
第36回	認定実技審査練習1			第51回	国家試験対策①		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第37回	認定実技審査練習2			第52回	国家試験対策①		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第38回	認定実技審査練習2			第53回	国家試験対策②		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第39回	認定実技審査練習3			第54回	国家試験対策②		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第40回	認定実技審査練習3			第55回	国家試験対策③		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第41回	認定実技審査練習4			第56回	国家試験対策③		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第42回	認定実技審査練習4			第57回	国家試験対策④		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第43回	認定実技審査練習5			第58回	国家試験対策④		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第44回	認定実技審査練習5			第59回	国家試験対策⑤		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
第45回	認定実技審査練習6			第60回	国家試験対策⑤		
概要	ロールプレイテスト			概要	テスト		
成績評価の方法		出席、中間テスト、期末テストの総合で評価します。					

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	国家試験対策（生理学・内科学）			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位		授業時間	90分	授業回数	60回	履修学年	3年
分野		講義		必修		通年	
授業の目標・ねらい							
<p>人体の正常な働き、機能がもし異常になればどうなるかを考える。生理学を復習しながらも、一般臨床医学・病理学・衛生学と関連つける。さらに生理学の各単元別の過去問題を解き選択別問題に慣れる。後半は国家試験対策として問題数を増やす。</p>							
教科書	生理学（学校協会編）			参考書			
授業の概要							
第1回	感染症・過去問①			第16回	腎・泌尿器疾患・過去問⑧		
概要	ガイドランス 衛生学との関連			概要			
第2回	感染症・過去問①			第17回	腎・泌尿器疾患・過去問⑧		
概要				概要			
第3回	血液疾患・過去問②			第18回	内分泌疾患・過去問⑨		
概要				概要			
第4回	血液疾患・過去問②			第19回	内分泌疾患・過去問⑩⑪		
概要				概要			
第5回	自己免疫疾患・免疫不全①			第20回	神経・筋疾患・過去問⑬		
概要				概要			
第6回	自己免疫疾患・免疫不全②			第21回	神経・筋疾患・過去問⑭		
概要				概要			
第7回	循環器疾患・過去問③			第22回	神経・筋疾患・過去問⑮⑯		
概要				概要			
第8回	循環器・過去問③			第23回	病理学との関連		
概要				概要			
第9回	呼吸器疾患・過去問④			第24回	病理学との関連		
概要				概要			
第10回	呼吸器疾患・過去問④			第25回	国家試験対策①		
概要				概要			
第11回	消化器疾患・過去問⑤			第26回	国家試験対策②		
概要				概要			
第12回	消化器疾患・過去問⑤			第27回	国家試験対策③		
概要				概要			
第13回	代謝・栄養疾患・過去問⑥⑦			第28回	国家試験対策④		
概要				概要			
第14回	代謝・栄養疾患・過去問⑫			第29回	国家試験対策⑤		
概要				概要			
第15回	前期試験対策			第30回	後期試験対策		
概要				概要			
成績評価の方法				定期試験			

2018年度 授業計画（シラバス）

科目名	国家試験対策（解剖学・模試）			対象学科	柔道整復師学科		
授業単位	単位	授業時間	90分	授業回数	30回	履修学年	3年
分野	講義			必修		通年	
授業の目標・ねらい							
筆記試験受験対策として基礎知識と応用知識を習得する。							
教科書	解剖学			参考書			
授業の概要							
第1回	国家試験対策			第16回	国家試験対策		
概要	人体解剖学概説 模試			概要	内臓系② 模試		
第2回	国家試験対策			第17回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第3回	国家試験対策			第18回	国家試験対策		
概要	骨格系① 模試			概要	内臓系③ 模試		
第4回	国家試験対策			第19回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第5回	国家試験対策			第20回	国家試験対策		
概要	骨格系② 模試			概要	内分泌系 模試		
第6回	国家試験対策			第21回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第7回	国家試験対策			第22回	国家試験対策		
概要	筋系① 模試			概要	神経系① 模試		
第8回	国家試験対策			第23回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第9回	国家試験対策			第24回	国家試験対策		
概要	筋系② 模試			概要	神経系② 模試		
第10回	国家試験対策			第25回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第11回	国家試験対策			第26回	国家試験対策		
概要	脈管系 模試			概要	感覚器 模試		
第12回	国家試験対策			第27回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第13回	国家試験対策			第28回	国家試験対策		
概要	内臓系① 模試			概要	体表解剖 模試		
第14回	国家試験対策			第29回	国家試験対策		
概要	解説			概要	解説		
第15回	復習			第30回	復習		
概要				概要			
成績評価の方法				筆記試験			